

私達のいきいきボランティア活動



専科一期校友会手話ダンス同好会

栞原八洲子さんが旅立って一年が経った！

私達の年代になると時間の過ぎ去る早さには驚くばかりである。栞原八洲子さんが旅立ってからあっという間に一年が過ぎ去り、寂しいことだが専科一期校友会の仲間達の脳裏に残された、栞原さんが存在した記憶も薄れて忘れられようとしている。この一年、私は専科一期校友会の「手話ダンス同好会」及び「太極拳クラブ」の活動記録をホームページに掲載する度に、栞原さんが生存中に活躍した踏み跡を目にすることから、「交流していた時のいきいきと活躍していた姿」が臉に浮かび、本人はもっと校友会活動を続けていたかったのに、神様の意地悪で一瞬にして現世から旅立たせられた事を思うと、無念さが募るばかり。

栞原さんには専科一期校友会ホームページの立ち上げに参加していただき、ホームページ委員として、「手話ダンス同好会」及び「太極拳クラブ」の活動報告を送っていただいたことや、私個人としても栞原さんのホームページ立ち上げをお手伝いしたこともあって、ホームページで栞原さんの生きた証を何か残せないかと考えていた。そんな折に手話ダンス同好会の角田さんから平成28年最初の「手話ダンス同好会」活動記録と活動も7年目に入りましたとメールが送られてきた。

平成28年となるとホームページも新しいページ作らねばならない。それを作りながら閃いたのは、今は「手話ダンス同好会」の会員も少なくなったが、伊奈学園建学の精神（ボランティア携わる人の養成）に基づいて専科一期生健康づくりコースのほとんどの会員が参加した「手話ダンス同好会」の踏み跡を作って残せば、それを見たどなたかが栞原さんのことを思い出してくれるに違いないと思ったことや、春日部学園14期生及び専科1期生として私と一緒にいた、亡き小濱巖さんも「手話ダンス同好会」に参加していたことも思い出してほしいとの思いもあり、また、会員が少なくなったとはいえ、鎮目さん、角田さんをはじめとする会員の方々がボランティア活動を地道に7年も続けられていることに敬意を表する意味からも、専科一期校友会ホームページに掲載した記事をベースにして「手話ダンス同好会」活動記録の踏み跡を作ることであった。

閃きはすぐに実行する癖のある私は、急遽、平成22年～27年まで専科一期校友会ホームページに掲載された、「手話ダンス同好会活動記録」を時系列に並べるだけの拙い編集であるが、三日間で冊子の原稿を作り、とりあえずPDFを作成したので関係者の皆さんにお届けするとともに、後日、冊子にすべく、これからも原稿作りを続けることにした。

(専科一期校友会HP管理人 岡村)

H 2 2 年活動報告

目次

- | | |
|-------------------------------|-----|
| 1、手話ダンス同好会だより H22. 7. 6 | P 3 |
| 2、やっと、やっと発表できました！ H22. 11. 26 | P 4 |
| 3、手話ダンス練習の後は課外授業 | P 5 |
| 4、手話ダンス同好会だより=今年を振り返って | P 6 |



手話ダンス同好会だより

平成22年7月6日（火）

卒業してから4カ月、月1度の手話練習には皆さん元気に集まり練習に励んでいます。ある方は、この時に会い、「元気だった?」「元気だった」の挨拶から始まる、またある方がたは毎週お互いにアクティブティに会い、「体調治った」があいさつになる。皆さん凄い、元気が取り柄の健康コースのメンバーである。手話ダンスも



文化祭に向けて新しいレパトリーを練習中であるが、年が年なだけになかなかマスターまで行かない、記憶出来なくて、皆困っている。何回もやって身体で覚えろと、唱えて汗ふきふき特訓中である。はてさて発表会にこぎつけられのか?このメンバー。講師の方は、首をかしげておりまーす。だけど、このメンバー最後は、人前での演技、上がりもしないで、成し遂げてしまうと思います。何なんですかねーこれ、アラ還だからですかねー
嬢遊会の皆さーん また同好会の皆さーん



やっと、やっと発表できました！

11月26日10時～合同研修会、307号室・専科一期の集会で披露。



手話ダンスに出合って

いきがい大学専科健康づくりコースに入学し学園祭でのクラス演目として舞台上で踊る事になり初体験致しました。手振り・足の動き・歌詞・リズムを同時進行させるのですから、老化が進みつつある頭にきっちりインプットする事は、戸惑うばかりで、覚えた積りでも、すぐ出て行ってしまい、一曲マスターするだけでも大変で、指導者泣かせだったと思いましたが、2年目にクラブとして立ち上がったので継続して参加させて戴き、私にとっては、老化防止・脳の活性化・体力維持・楽しい仲間との出会い等、一石二鳥以上の効能があり、将来はボランティア活動に繋がれたら尚嬉しいと思いながら励んでいます。（文・斎藤志津子）

手話ダンス練習の後は課外授業

12時まで練習。昼食。女子10名はミーティングルームへ。

先生も今度は生徒になって布草履作り。材料は荷作り紐・7センチ幅の布だけ。木製の手作り道具を使い2時間で1足ほぼ出来上がり！簡単に出来たので皆感激。作品を見せっこ。やはり個性が出ていました。たくさん作ってバザーに出せば良いね～人様に買って頂けるようになるには、もう少し修行が必要。黙々と一人で作るより、このように集まっておしゃべりしながら、アイデア出し合いながら作れると楽しいですね♡



手話ダンス同好会だより

緊張？の初舞台

私たち手話ダンス同好会は、本年4月の設立以来、毎月1度県活センターに集まり、2時間の練習をしてきました。10月22日のボランティア活動発表会には、まだ練習不足ということで参加を見送りましたが、11月26日の合同研修会の分科会（各期集会）には満を持しての登場となりました。

事前の打ち合わせでは、9時から開講式が行われている間に分科会会場である307号室に集まり、リハーサルを行って演技に万全を期する、といえは聞こえがよいのですが、実際には振りをまだ十分に覚えていないため、泥縄でおさらいしようという魂胆。ところが、開講式が行われる定員500名の小ホールに700名を超す参加予定があり、急遽、当番に当たった19期と専科1期は、式に出席せず直接分科会会場に集合せよ、ということになってしまいました。仕方なく裏の廊下で簡単に練習していざ本番となったのですが、なんということでしょう、よく言えば本番に強い、悪く言えば〇〇の皮が厚い、あるいは鈍感なのか、現時点での実力を遺憾なく発揮し、途中の演技はまだしも決めのポーズは大成功。演目の中間で行われたやさしい手話「夕焼け小焼け」のティーチングでは、会場の全員が参加して大盛り上がり。ちょうど各会場を視察していた氏家所長からも「専科1期の集会の企画が一番盛り上がっていましたね」とのお褒めの言葉をいただきました。

★12月の練習終了後の打ち上げで、私たちは今回の感動を忘れないためにも、来年以降は老人施設や病院などでの演技発表を目指してさらに練習していこうと確認しあいました。 **今年の練習打上げは馬車道で** （角田 記）



H 2 3 年活動報告

目次

1、手話ダンス同好会だより H23. 1. 8	P 9
2、手話ダンス同好会親睦会開催 H23. 2. 8	P 1 0
3、手話ダンス同好会だより=初ボランティア H23. 4. 20	P 1 1
4、手話ダンスを指導して H23. 5	P 1 2
5、ボランティア外部公演—その 2 H23. 5. 23	P 1 3
6、手話ダンス同好会の活動 H23. 6. 15	P 1 4
7、手話ダンス同好会の活動 H23. 9. 16	P 1 5
8、ボランティア活動発表会 H23. 10. 21	P 1 6
9、手話ダンス交流会に参加 ! H23. 11. 25	P 1 7



手話ダンス同好会だより(2011/1/8)

手話ダンスのサークルは専科1期健康づくりコースが学園祭の演技で披露し、それを継承したものです。

手話ダンスは歌の歌詞に合わせた手話とリズムに乗ったステップで年齢とともに衰えていく頭と体を維持するに役に立っていると思っています。

手話ダンスは月1回の練習ですが、ゆっくりしたリズムの準備体操で体をほぐした後、手話ダンスに入り、繰り返し反復して少しずつレパートリーを増やし、「四季の歌」「故郷」等5曲、また軽快なリズムにあわせたレクダンスで、「ユア・マイ・サンシャイン」や「カレンダーガール」も練習し、幅広い楽しいサークルになってきました。

今後メンバーの健康と親睦を図り、成果の発表等により、地域に貢献することを目標に続けていく所存です。

文：小濱 写真：クワハ



手話ダンス同好会親睦会開催

2月8日、健康コース手話ダンス同好会開催、午前中は県活で手話ダンスの練習、そして午後は総会兼親睦会を大宮木曾路で行いました。

参加者は女性11名、男性7名計18名で楽しい交流会を開催することが出来ました。

総会はクラブ部長の挨拶、乾杯音頭に続いて、手話ダンス同好会の指導講師さんに全員で感謝とお礼を致しました。

親睦会の中では、来年度の新役員選出、世話役として川口さん、星沢さん杉本さんが決まり



3名で会計を含め運営を行っていきます。
よろしくお願ひ致します！

我がコース女性陣、手話の失敗談やほかでのダンスクラブの楽しさ等、話題は尽きない賑やかな会が延々と進行しました。

皆さんからの提案で、4月10、11日にはクラブ員有志で日光、霧降高原への一泊親睦旅行が早々と企画されました。

今後私達の会は、いきがい大学の入学案内の趣旨と伊奈学園専科1期生として、地域活

動に貢献する会とする為に、ボランティア活動を3月、4月にそれぞれ施設に出向き実演をすることを確認しました。

また10月21日のいきがい大学ボランティア発表会への出場も視野に、更に練習・活動する予定で（イナボイスへ会員登録予定）、話題が尽きない中、クラブ副部長の一本締め音頭で今後の活動、活躍を誓って会を閉めました。

【今日の県活集合そして大宮への移動は、ニューシャトルの思わぬ脱線事故での混乱があり記憶に残る1日となりました】

文責は堀恒雄、編集中心村正武

手話ダンス同好会だより・初のボランティア公演

華麗にして、優雅な舞？に酔いしれた、元気村の利用者さんに、万歳

東日本大震災の爪痕から未だ癒えない、春は4月20日（水）。よく晴れた午後だった。日頃の練習の成果を発表しようと企画した、手話ダンス同好会初のボランティア外部公演。この一年、熱心にご指導頂いている鎮目さんの呼びかけで実現した。私達手話ダンス同好会15名（女性：11名、男性：4名）は、蓮田市閩戸元気村老人福祉施設「翔裕園」の舞台上、華麗に？舞った…。

★会場に着くと、会議室をお借りして、鎮目先生に直前指導いただいて、本番に備えた。そして、本番では、「四季の歌」、「ふるさと」など5曲を披露…。2階の会場に向かうと、舞台の前には約100名の方々が所狭しと、席に着いていた。私たちは逸る気持ちを抑えながら、緊張な面持ちで、舞台上上がったが、踊り進む内にいつしか落ち着きを取り戻していた…。途中、「夕焼け小焼け」の曲は、利用者さんに一緒に演じることを呼び掛けた。元気なご老人、30数人は手を動かしながら、そして歌ってくれた。私達メンバーと会場の皆さんが一つになった瞬間だった。そして、うさぎ追いし、かの山…「ふるさと」



の曲が始まると、涙を流していた年の頃80歳のおばあさんが…。遠いふるさと、東北の被災地を思い出していたのだろうか、、、。あっという間に30分が過ぎていた。

★川口部長の「今度伺う機会があれば、もう少し練習を積んで、皆さんに感動を与えられるように演じたい」との挨拶が終わるや否や杖をついた80歳を有に超えた利用者さんが突然、私達の前まで進んで来て、深々と頭を下げ、「有難う。良かった」との一言…。私達は胸が詰まる思いで、その言葉を受け止めたのだった…。利用者さんから「みんな、別嬪さんばかりだね（笑い）」と声を掛けられ、握手を求められた女性メンバー。これを聞いた男性メンバー、「ご老人なのに、ユーモアが上手い人もいるもんだねえ」と言ったとか言わなかったとか…。また、別のメンバーは「上手くなってもう一度、きます」と利用者さんに話しかけたが、「今のままで良いよ。上手いよ。また来てね」と逆に慰められる一幕も…。「参加する前は踊れるか心配だった。ほんとに来て良かった。こっちがパワーをもらった」とメンバーの一人がしみじみと言っていたのが、印象的だった。その他、参加した皆さんから、「踊り進む内に度胸が出た」、「とても良い経験になった」とのコメントが私達ダンス同好会の今後を暗示しているようだった。兎にも角にも、初めてのボランティア経験。やり終えた清々しさだけが残った。そして、会場の「翔裕園」の玄関を出ると、春の光が眩しいほど辺りいっぱいにふり注いでいた。（文：新井、写真：大友）



でいた。（文：新井、写真：大友）

手話ダンスを指導して

2011年5月

昨年、専科が終わり、正直言って一抹の不安をいだきながらスタートした『手話ダンス同好会』でしたが、日を迫る毎に一所懸命、そして楽しんで憶えてゆくクラスメートを見て一抹の不安が胸一杯の喜びに変わりつつある今日この頃です。そして先日はついにボランティアデビューを果たしました。

皆さん生き生きと踊り、見て下さった方々よりも感動を味わったのでは無いでしょうか？

これからも仲良くやってゆきたいと思っています。よろしく願い致します。

横目二三子



ボランティア外部公演—その2

H23.5.23 (月) でいとれセンター「ひばり」 (大宮高鼻)

実は、ご指導頂いている鎮目さんが5月15日交通事故に遭い足首を骨折されるというアクシデントがあり実現できるか否か…鎮目さんの「必ず実行して」という要望があり事前に施設に行き事情を説明し手話ダンス・コーラス・沖縄舞踊の三本立てでお願いしたところ快く承諾して頂き実施する事になりました。

★毎月1度の練習でまだ1年。指導して頂いた6曲のうちまあまあ自信のある3曲を披露することとし当日早めに集合。メンバー12名(男2名女10名)で練習、そして「私達が楽しく演じていなければ見ている方もつまらないから笑顔を忘れず楽しもう」という言葉を掛け合い会場へ。約40名の方がお待ち中には40分も待っていて下さった方も。

★中村さんの挨拶のあと1曲目(四季のうた)2曲目(夕やけこやけ)はどうにか無事に踊る事ができましたが3曲目の(上を向いて歩こう)はバラバラになってしまい曲が終わると同時にメンバーから「上手に出来なくてごめんなさい」という言葉が出ていました。コーラスは角田さんを中心に“夏は来ぬ”等3曲を会場の全員で歌いました。野本さんの沖縄舞踊(アサノ屋ユンタ)には男の人から「アンコール!」の声もかかり、そして当日初めて練習した“ハイサおじさん”をメンバー全員で踊っていると頂いた30分間が過ぎていました。

★会場にいらした人と握手のスキンシップをし、楽しい時間も終わり帰ろうとしていた時、施設の方から私達の踊っている姿がプリントされたカレンダーをメンバー1人1人にいただき思いがけないお土産に暖かく幸せな気持ちになりました。ありがとうございました。(E. H)



手話ダンス同好会の活動

大宮・白菊苑ディサービスセンター

6月15日(水)、大宮の白菊苑ディサービスセンターを訪問した。手話ダンス同好会として、3か所目の訪問だ。約30人の参加者であったが、手拍子をしながら声を出して唄ってくれた人、また、椅子に座ったままではあったが、手話をしてくれた人もいた。皆、積極的に参加してくれた。45分の演技(手話ダンス、歌、琉球舞踊)であったが、終了した後も、そこかしこで、声をかけられたり、握手を求められたりした人もいた。なんとか、一汗(冷や汗?)かいて控室に戻ってきた。私達は、専科を卒業して1年数か月、その間、月一回ではあるが、一生懸命練習をしてきた。最初に訪問した時は、不安でいっぱいであったが、演技が終了した時は、図々しく、精神的に、わずかではあるが自信がついたような気がした。もちろん、技術的には、まだまだ未熟で、その大きなギャップに悩みもした。下手でも下手なりに、一生懸命演技をすれば、見ている人たちに喜んでもらえる感動してもらえる、そんな活動を今後も続けていきたい。(文:川口、写真:クワハラ)



手話ダンス同好会の活動

大宮・介護老人福祉施設「白菊苑」

朝晩の秋の空気とは程遠く、日中はまだ残暑の厳しい9月16日（金）手話ダンスメンバー9人は、大宮天沼町にある介護老人福祉施設「白菊苑」を訪問。6月に続いて2回目の訪問であった。しかし、40名の施設利用者さんは全員、私達とは初対面だった様子。前回は、鎮目先生が怪我療養中で欠席され、不安なダンス披露だったが、今回は、先生のリードで自信に満ちた堂々たる演技。

★前半は「四季の歌」「夕焼け小焼け」「上を向いて歩こう」を披露。中休みでは、皆さんと手を取りながら合唱。誰もが大きな声を出して笑顔になる。体も心もリラックスされたのでしょ。

★後半の手話ダンスでは、私達の手話に合わせて、利用者さんの手が動き出す。「ふるさと」の曲が流れると涙を流される方があちらこちらに。ステップを踏んでいる私達の胸も熱くなってくる。

★わずか40分の訪問ではあったが、「楽しかったよ」「みんな良く揃っていて、よかったよ」「また来てね」「待っているからね」と手を差し伸べ握手して下さる。このひと時、私達はいつも、「ああ、来てよかった」と心の底から思うのである。退室する私達に、いつまでも手を振る利用者さん。手話ダンスが大好きな私達を喜んで迎えて下さった介護施設の皆さんに感謝し、咲き始めた萩の花に見送られながら軽い足取りで大宮駅に向かった。

文責：三室 写真：クワハラ



ボランティア活動発表会

H23.10.21 専科一期手話ダンス同好会 「手話ダンス」発表



手話ダンス交流会に参加！

H23.11.25 (金) 1:00~3:00 於：県活小ホール

私達の会「手話ダンス同好会」は、立ち上げてから2年弱です。鎮目先生を中心に、専科一期健康コース20名の会員で月1回第一火曜日に練習しています。この交流会に参加したのは、私達同好会の他に、「キュート」と「小江戸」の2つの会です。私達の会よりは練習年月も長く月の練習回数も多いベテランの方達です。

★私もやっと手話ダンスが少しずつわかってきて面白くなってきたところです。他の会の手話ダンスを見た事が無かった私は今回参加して、目を見張るものを感じました。ベテランの方の手話ダンスは、力強く生き生きしていて楽しそうに踊っていました。又心が引き込まれるような踊り方の人もいてとても勉強になりました。私も年月を重ねればあんなに上手になれるのかなあ…と思いました。中には私と一緒に自信なさそうに踊っている方もいて、自分と重ね合わせてしまい恥ずかしい気持ちにもなりました。ですが、とても勇気づけられ、これからもっと頑張ろうと言う気持ちにもなりました。又このような交流会が催せたらいいなあと思いました。(文：杉本・写真：大友・クワハラ)



H 2 4 度活動報告

目次

1、手話ダンス同好会研修旅行（新年会？） H24. 1. 22～23	P 2 1
2、手話ダンス同好会の活動 H24. 2. 7	P 2 2
3、手話ダンス同好会だより 1 3号 H24. 3. 19	P 2 3
4、手話ダンス同好会総会を開催 H24. 3. 14	P 2 4
5、手話ダンス同好会会則 H24. 3. 23	P 2 5
6、手話ダンス同好会だより 1 4号 H24. 4. 27	P 2 6
7、手話ダンス同好会だより 1 5号 H24. 5. 23	P 2 7
8、手話ダンス同好会だより 1 6号 H24. 6. 22	P 2 8
9、手話ダンス同好会だより 1 7号 H24. 7. 7	P 2 9
10、手話ダンス同好会だより 1 8号 H24. 7. 31	P 3 0
11、第3回ボランティア活動発表会 H24. 10. 25	P 3 1
12、手話ダンス同好会だより 1 9号 H24. 11. 20	P 3 2
13、手話ダンス同好会だより 2 0号 H24. 11. 28	P 3 3
14、手話ダンス同好会だより 2 1号 H24. 12. 20	P 3 4



手話ダンス同好会研修旅行（新年会？）

H24.1.22～23(月) 日光大江戸温泉物語

手話ダンス同好会で初めての研修旅行。男性7名、女性12名で、日光大江戸温泉物語（日光霧降高原）に行ってきました。新都心からバスで現地に向かいました。日光に入ると雪景色。水墨画になるような光景でした。ホテルに着きすぐに昼食(自払)です。カレー、おそば、コーヒーそれぞれ好きな食事をとり、部屋へ。部屋割は、くじびきでした。少し雑談してから、お風呂、バイキング（これの為に昼は軽めに・・・）その後、男性の部屋に集まり、来期の役員きめ、それから手話の練習。新曲、「見上げてごらん夜の星」をレッスンしました。翌朝カーテン開けたらすばらしい朝日。思わず手を合わせ「今日も無事に」と祈りました。朝風呂、朝食後、卓球、手話のレッスンしている内に雪が沢山降ってきました。13時ホテルを出発し帰路につきました。（文：野本、写真：大友）



編集後記：幹事役の斎藤さんと松山さんのお骨折りで楽しく安価（交通費込み8千円也）な手話ダンス同好会初の一泊旅行実現。感謝です。私は体調崩しキャンセルしご迷惑をかけました。すみません。でもさすが1期健康コースの方々。新年会だけで終わらず新曲マスター！参加しなかった2名は出遅れてしまいました。が、2月7日今年初のボランティア。イナヴォイスの取材もあります。今年も楽しくやって行きたいですね。（クワハラ）

手話ダンス同好会の活動

H24.2.7 大宮・介護老人保健施設「あすか」

今日はイナヴォイスの4名の方々の取材を受けての公演。緊張と期待の中いつものように楽しく交流できました。「いきがい大学」に入学して初めて「手話ダンス」を知りました。同期の仲間に励まされて3年近く楽しく来ました。覚えても右から左・左から右へと忘れてしまいますが…ボランティアに行きますと皆さん生き生きと手足を動かし、真似をして笑顔を見せて喜んで下さいます。「手話ダンスをみてこんなに楽しそうにして下さる方々が待っている」と励みになります。練習をもっとしなければと思いつつ、自分も健康に気をつけていきたいと感じました。（文:川田なみこ 写真:大友）



手話ダンス同好会だより 13号

りふれ宮原=初めての時間切れでした=

「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、今年の寒さはもう少し続きそうな3月19日、手話ダンス同好会の23年度最後、昨年4月以降通算8回目のボランティア訪問は、さいたま市北区にある「りふれ宮原」に12名でうかがいました。ここは昨年末に一度お邪魔し、ノリの良さに圧倒されたデイサービス施設です。

★2時少し前に出番となりホールに出ると、集まっていた皆さんは37名。何となく見覚えのある顔があちこちに。「四季の歌」から演技に入ると前回同様、見ている人たちが歌を口ずさみ、見よう見まねで手話の形もやってくれました。「上を向いて歩こう」では先生なしでの踊りになったのですが…、出来は今一、今二。まだまだ修行が足りません。続く、先生による「夕焼け小焼け」の手話のティーチング、12月に続いて2回目なので、最初からスラスラできる人がいたらどうしようかと思ったのですが、さすがに忘れておられたようで、変なところで一安心。

★第2部(?)の歌のコーナーでは「春が来た」「山小舎の灯」「花」の3曲。合間のおしゃべりが少し長かったかも。でも、皆さん大きな声で唄ってくれました。今まで童謡唱歌ばかりだったのですが、ラジオ歌謡もいいなと気付いた次第。頭がスッキリしたところで琉球舞踊「ハイサイおじさん」は、スペースが狭いので輪になって踊ることができず、皆さんに向かって前進したりバックしたり。音出しに手間取ったのは反省材料です。

★第3部(?)は時間が押して、「ふるさと」のティーチングも省略。3曲踊ったところで3時5分前になってしまいました。折角アンコールがあったときのために1曲用意していたのですが、残念。それはまた次の機会に。最後の出し物「今日の日はさようなら」の終わりの部分、「また会う日まで」「また会いましょう」の手話を皆さんと交わしてお別れしました。(文:角田 撮影:埴)



手話ダンス同好会総会を開催

★平成 24 年 3 月 14 日（水）に大宮の銀座アスターで手話ダンス同好会の 23 年度総会を開催いたしました。午前中、大宮で練習をした後、昼食をとりながらの総会でした。専科 1 期健康づくりコースを卒業して 2 年を経過しようとしています。私達も 23 年度には、ボランティアでいろいろな施設を訪問し、手話ダンスを披露してまいりました。3 年目以降も、さらに活発に活動していきたいと、思っています。そんな中で、今回の総会は、会長ほか世話人を新たに選出したほか、練習日も今までの月 1 回から 2 回に増やしていこうということになりました。若干メンバーは減少するかもしれませんが、技術的なものを含め、内容を充実させて、会員同士の親睦を図るとともに、地域にも手話ダンスを通じて貢献していきたいと考えています。（文 川口）

23 年度活動状況

年月日	曜日	活動先	出席者	時間	参加人数（備考）
23.4.20	水	翔裕園	15 人	30 分	100 人
5.23	月	ひばり	12 人	40 分	45 人
6.15	水	白菊苑	10 人	45 分	30 人
8.30	火	吾亦紅	15 人	50 分	30 人
9.16	金	白菊苑	9 人	30 分	40 人
10.21	金	県活小ホール	16 人	20 分	70 人（ボランティア活動発表会）
11.18	金	県活小ホール	14 人	15 分	70 人（合同研修会）
11.25	金	県活小ホール	17 人	6 分	約 70 人（交流会）
12.16	金	りふれ宮原	14 人	40 分	36 人
24.1.22	日	日光霧降	19 人		
23	月				（懇親会）
2.7	火	あすか	13 人	50 分	25 人
3.14	水	銀座アスター	16 人		（総会）
3.19	月	りふれ宮原	12 人	50 分	40 人



いきがい大学伊奈学園専科第1期健康づくりコース

手話ダンス同好会会則

(総 則)

第1条 この会は、いきがい大学伊奈学園専科第1期健康づくりコースで学んだ仲間達が、手話ダンスを学ぶことにより、さらに親睦を深めるとともにメンバーの健康維持を図り、また成果の発表等により地域に貢献することを目的とする。

(練習日及び時間)

第2条 練習日は、原則として毎月第1火曜日ほか1日とし、時間は午前10時00分から正午までとする。

- 2 会員が都合により練習を欠席するときは、速やかに第6条に定める世話人のうちのいずれかに連絡することとする。

(練習場所)

第3条 練習場所は、県民活動センターほかとする。

(会 費)

第4条 会費は、年3,000円とし、毎年3月末までに翌年度分を納入することとする。ただし、納入した会費は、年度途中で退会しても返還されない。

(決算報告)

第5条 会計担当者は、毎年度終了時に決算を書面でメンバー全員に報告する。

(世話人及び任期)

第6条 この会は、世話人として以下の役職を置く。任期は、4月1日から翌年3月31日までの1年間とする。

会 長 1名 副会長 1名 会 計 1名

(指導者及び謝礼)

第7条 手話ダンスの習得に当たっては、指導者を招くことができる。

- 2 会員が指導者を兼務する場合は、その会員の会費は不要とし、交通費の支給をもって謝礼とする。

(発効および改定)

第8条 この会則は、平成22年4月1日から発効する。

- 2 この会則は、平成23年4月1日から改定施行する。
- 3 この会則は、平成24年4月1日から改定施行する。

手話ダンス同好会だより 14号

H24.4.27 伊奈町志久のデーサービス介護施設“ふくろうの杜”

私達手話ダンス同好会はボランティア活動で地域貢献することを会の目標にしています。昨年4月に初めての施設訪問ボランティア活動を行ったのを手始めに今回9回目の施設訪問ボランティア活動を行いました。施設は伊奈町志久にあるデーサービス介護施設“ふくろうの杜”です。ここはまだ開業から半年の真新しい施設で、外観は木材で囲った雰囲気の良い感じで、施設の中も同様に木材が多用され、木の臭いが残っている明るい施設でした。14名のデーサービスの皆様の前で手話ダンスを計4曲踊りました。特に施設の皆様に教えた手話ダンスは皆さん手を振り振り楽しそうに踊ってくれました。途中懐かしい童謡歌を3曲一緒に唄いましたが、皆で声をはりあげ唄いました。最後はアンコールで踊りを締め、楽しいひと時を過ごしました。



手話ダンス同好会だより 15号

さいたま市土呂の共同生活介護施設 “グループホームさいたま土呂”

今回、5月23日に第10回目の施設訪問ボランティア活動を行いました。施設はさいたま市土呂にある共同生活介護施設 “グループホームさいたま土呂” です。ここは宿泊共同生活で介護を受け、楽しく仲間作りを行っている感じの明るい介護施設でした。参加した私達は総勢9名です。18名の介護施設の皆様の前で、まず人気曲の “四季の歌” を踊りました。次に鎮目さんの指導のもと、施設の皆様と共に “夕焼け小焼け” を踊り、皆さん手を振り振り楽しそうに踊ってくれました。その後昔懐かしい童謡歌を3曲一緒に唄い、皆で声をはりあげ大声で唄いました。次に手話ダンス3曲を踊りましたがここで終わってしまいました。施設の皆様から坂本九の手話ダンス追加のアンコール要求があり2曲踊りました。あっという間の50分の楽しいひと時を過ごしました。施設の方から再度の訪問の依頼があり、気を良くして訪問を終えました。



手話ダンス同好会だより 16号

リターンマッチは大成功

今年は梅雨前線に一つ半(?)の台風が絡むという異常気象のなか、わが同好会は元気いっぱい、6月22日(金)に大宮高鼻の「デイサービス施設・ひばり」に伺いました。ここは、今を去ること約1年前、ボランティア訪問を始めて2回目にお邪魔したところです。その時は直前に指導の先生が怪我で出られなくなり、まだうろ覚えながら「何とかやるさ」の気持で行きましたが、練習不足は如何ともしがたく、踊りがメロメロとなり、「上手にできなくてごめんなさい」の結果となった辛い思い出のある場所でした。この日私たちが待っていたのは、前回と同じ40名ほど。でも「1年前に私たちの踊りを見た人は？」と聞いても、誰も手が上がりません。曜日が違ったせいもあるし、忘れられたのかも知れません。

いつものように「四季の歌」からスタート、そして「夕焼け小焼け」は皆さんへ手話のティーチング。続くコーナーで3曲懐かしい歌を唄ったあとは「ふるさと」。ここで声を出すことに慣れた皆さんから応援の歌声が…、でも伴奏よりテンポが早くでちょっと踊りづらかったというのが正直なところ。いずれにしても、前回と比べ見違えるように皆がスムーズに動けるようになったというのが終わったあとの感想で、毎月のボランティア修行は伊達ではありません。まさに継続は力なり。1年前の申し訳ない思いからようやく開放された今回の訪問でした。(文:角田、撮影:施設側)



手話ダンス同好会だより 17号

今回は初夏を告げる“たなばたさま”の日の手話ダンスボランティア

私はメンバーがボランティア会場集まる前に到着し、会場の様子を見学しました。会場はすでに41名ものデースサービス通院の皆様が整然と座り、又介護仕の方が本日の合唱で歌う歌詞が書かれた模造紙をボードに貼り付けていました。準備は万端のようです。私が施設の待合室に戻ると、時を同じくして9名の仲間が到着しました。他2名が未到着でしたが理由を聞くとJR宇都宮線の事故で間にあわずあきらめて帰る残念なアクシデントがありました。

★さて、手話ダンスの始まりです。会場は約7割が女性です。目立ったのは、介護者の最前列にきちんとした和服姿で草履をはいた白髪の老齢の女性が座っていました。彼女は一緒に踊り、明瞭な声で歌い、何か会場をぴりりと締めてくださいました。初めての経験です。

★さて演技ですが、まず手話ダンスを1曲踊り次ぎに施設の皆様に手話ダンスを教え一緒に踊りました。皆さん手を振り振り楽しそうに踊ってくれました。途中懐かしい童謡歌を今日の日になんだ“たなばたさま”を歌い他2曲と一緒に唄いました。皆声をはりあげ唄ってくれました。次に手話ダンス3曲を踊り楽しいひと時を過ごしました。家に帰ったら早速施設から電話が入り、非常に好評でしたのでまた是非来て欲しいとの要望がありました。



手話ダンス同好会だより 18号

今回は早期来園を要望されての手話ダンスボランティア

ツクイデーサービス様からは、7月初旬のボランティアを要望されていましたが、他に訪問予定が詰まっておリ7月31日の訪問になってしまいました。この施設では、手話ダンスの訪問は過去になく、手話ダンスに大変興味を持たれたようです。最初の挨拶で、いきがい大学から来ましたと言うと、老けた大学性？と言うことで皆さんキョトンとされましたが、実は老人学校の卒業生と打ち明けたとたん皆さん納得されようで笑顔が見られました。（今後紹介に注意します）会場は約8割が女性で、全19名の皆様です。

★さて演技ですが、まず手話ダンスを1曲踊り次ぎに施設の皆様に手話ダンスを教え一緒に踊りました。皆さん手を振り振り楽しそうに踊ってくれました。次に、懐かしい童謡歌を夏の日になんだ“たなばたさまや海”等3曲を一緒に唄いました。皆なつかしそうに一緒に唄ってくれました。

★次に手話ダンス3曲を踊りましたが、施設側からは是非“ふるさと”を踊ってとの強いアンコールがあり、再度踊りました。施設の皆さん“ふるさと”のダンス中は目を輝かせ、大きな声で歌っていたからだそうです。 私達の手話ダンスが好評なのは、曲が懐かしい童謡歌が多いので自然に口ずさめる所にあるのかも知れません。 楽しい時間45分はアツと言う間に過ぎ、私達は施設の方全員とかたい握手を交わし、再会を誓って施設を後にしました。（文、写真 埴）



第3回ボランティア活動発表会

(H25.10.26)



【プログラム】

【開始時刻】	【演目】	【団体名称】	【代表者卒業期】
1. 10:00	簡化24式太極拳演奏	専科2期「太極拳クラブ」	専2期
2. 10:10	相撲甚句の吟唱	武州伊那相撲甚句会	14期
3. 10:30	民話「バオバブのきのうえで」	民話を楽しむ「いなば会」	13期
4. 10:50	安来節「男踊り、掛け合い踊り」	伊奈学正調安来節同好会	20期
5. 11:10	アクティヴ(剣、扇)太極拳	18期太極拳クラブ	18期
6. 11:30	わらべ歌の合唱	わらべ歌の会	17期
7. 11:50	「けいわ」トーンチャイム演奏	「ひまわり」磯部春代(個人)	18期
8. 12:40	影絵「うりこひめとあまのじゃく」	影絵グループ「あすなる」	5期
9. 13:00	「オカリナ、ハーモニカ、マンドリン」	こまくさ&ヴァンペール	18期
10. 13:20	山椒大夫(原作・森鷗外)	民話の会「おばこ」	18期
11. 13:45	太極拳、剣の演武	19期太極拳クラブ	19期
12. 13:55	音楽に合わせ、手話ダンスを舞う	専科1期手話ダンス同好会	専1期
13. 14:10	オカリナ演奏	どん・マロン	17期
14. 14:35	南京玉すだれ	いきがい玉すだれ	19期
15. 14:45	講談「真田幸村大坂入城」	外川澄輝(個人)	17期
16. 15:05	楊名時太極拳24式	専科1期「はくつるの会」	専1期
17. 15:20	民話語り	民話の会「いろりばた」	21期
18. 15:40	環境ボランティアと一芸一座	彩央会(地区団体)	15期

音楽に合わせて、手話ダンスを舞う



手話ダンス同好会だより 19号

上尾市の“家族の家ひまわり上尾”を訪問

11月20日私達手話ダンスメンバー7名は 宿泊介護施設“家族の家ひまわり上尾”を訪問しました。ここは3年前に建った新しい施設で空調の効いた明るい素晴らしい施設です。参加された介護者の方は25名、施設としては珍しく男性の方が多く6割程でした。介護者から手話ダンスとは何をするのですかと興味を示すなど、私達の華やかな色とりどりの服装を見て、大変興味を持ったようです。

★私達はまず四季の歌で手話ダンスを踊りました。介護者の皆さん初めての踊りに目を丸くして見いていました。次に夕焼け小焼けを踊りました。引き続きリーダの鎮目さんが施設の皆さんに、この歌の一節一節を手話で説明しました。説明後この歌を皆さんと一緒に踊りました。会場の皆さんは手を振り振り一所懸命に楽しんで踊ってくれました。

★次には私達恒例の懐かしい歌の合唱です。角田さん解説のもと・紅葉・里の秋・冬の夜3曲をみなさん声を張り上げ歌ってくれました。以後・ふるさと・見上げてごらん夜の星を・今日の日をさようならを踊り楽しいひと時を過ごしました。最後に皆さん一人ひとりと笑顔で固い握手を交わしましたが、一人の女性が感激したのか泣き出しながら私達を見送ってくれました。私達は清々しい気持ちで施設を後にしました。



手話ダンス同好会だより 20号

蓮田市の“特養老人ホーム蓮田園”を訪問

11月28日、蓮田市の“特養老人ホーム蓮田園”を訪問しました。

今回はイナボイスから要請されての、手話ダンスボランティア活動です。

この施設ではイナボイス登録団体一覧表の中から私達手話ダンス同好会に大変興味を示し、今回のボランティアが実現しました。

★この施設の入所者は定員100名と言うことで今回は90余名の方が参加されました。当日は入所者の11月生まれのお誕生会に合わせて、私達の手話ダンスが企画されました。園長さんのお話を聞いているとお誕生の方は67歳から97歳までの11名の方が該当されており、皆さん大変お元気でした。会場の入所者の方は全員車椅子に乗り、赤、緑、黄の色とりどりのTシャツを着た私達8名を興味深く見っていました。

★私達のダンスの段階になって、鎮目先生が体調不良のため、私達だけで踊ることになり、皆上手く踊れるか一抹の不安を抱いて踊りましたが、なんとか踊ることができました。又会場の皆さんへの手話テーチングの場面でも先生の代役を誰がやるのかが決めて無く、あわてる事態がありましたが、会場の皆様へは気づかれず、代役が無事テーチングをこなしました。演技中は大勢の方が私達の演技と一緒に楽しそうに手を振っていました。手話ダンスの途中に、懐かしい童謡歌の紅葉と里の秋2曲を皆さんと一緒に歌いました。皆さん童心に帰って大きな声で楽しく歌ってくれました。

★予定の時間30分を5分オーバーし会場を出る準備をしていた時、アンコールの拍手が沸き起こり、要望の強かった“ふるさと”を踊り、盛大な拍手のもと演技を終了しました。演技中、園長さんはずっと私達の演技に立ち会われ、一緒に手話をされていました。帰り際に控室までご挨拶に来られ、大変良かったとの感想を頂きました。私達は施設の方と再会を誓って施設を後にしました。(文、写真 塙)



手話ダンス同好会だより 21号

蓮田市の“デーサービス、フローラ蓮田”を訪問

12月20日、蓮田市の“デーサービス、フローラ蓮田”を訪問しました。今回はイナボイスから要請されての、手話ダンスボランティア活動です。イナボイス活動支援部の恩田さまが立ち会われました。施設の代表者の方のお話では、10月のボランティア発表会に来られ18チーム全部の演技を見て、私達の手話ダンスに感動し是非施設で演技を披露して欲しいと思い、イナボイスに申し込まれたそうです。大変名誉なことで私達も喜んで訪問させて頂きました。

★当日に会場に集まった方は女性20名、男性7名の27名でした。デーサービスの方ですので、皆さんお元気そうな方がほとんどでした。会場には一段高くなった演台があり、見晴らしの良い場所で演技をさせて頂きました。舞台を華やかにしようと私達は赤、緑、黄の色とりどりのTシャツを着、バンダナを首に巻き登場しました。そして手話ダンスの紹介をすると皆さんこれから、何が始まるのか興味深そうに私達を注視していました。

★まず私達は四季の歌を踊りました。芹洋子さんの美しい歌声に合わせて手話ダンスをすると、会場の皆さんうっとりとして見て下さいました。次になつかしい童謡夕焼けこやけを踊りました。これはやさしい手話なので会場の皆様に歌詞に合わせて一つひとつ手話の解説をしていきました。説明後皆様と一緒に音楽に合わせて踊りました。皆さん楽しそうに上手に手を振って踊ってくれました。笑顔がとても印象的でした。手話ダンスの途中に、懐かしい童謡歌3曲を皆さんと一緒に歌いました。皆さん童心に帰って大きな声で楽しく歌ってくれました。中央の女性の方は身を乗り出し大声で首を振りふり歌われていました。引き続き手話ダンス3曲を踊りました。予定の時間40分を過ぎ、皆さんなごり惜しそうに大きな拍手をしてくださいました。自然にアンコールの声が出始めたため、要望のあった“ふるさと”を踊り、盛大な拍手のもと演技を終了しました。

★演技後、園の責任者の方とお話ししたところ、会場の方達は大変盛り上がり期待どおりだったとの感想をお聞きして、ほっとすると同時にやりがいを感じました。私達は施設の方一人ひとりと堅い握手を交わし、再会を誓って施設を後にしました。(文、写真 塙)



H 2 5 年動報告

目次

1、手話ダンス同好会だより 2 2号 H25. 1. 16	P 3 9
2、手話ダンス同好会親睦会開催 H23. 3. 10～11	P 4 0
3、手話ダンス同好会だより 2 4号 H25. 4. 22	P 4 3
4、練習日程とボランティア訪問日程 H25. 6. 23	P 4 4
5、手話ダンス同好会だより 2 6号 H25. 6. 26	P 4 5
6、手話ダンス同好会だより 2 7号 H25. 7. 22	P 4 6
7、手話ダンス同好会だより 2 8号 H25. 7. 27	P 4 7
8、手話ダンス同好会だより 2 9号 H25. 8. 29	P 4 8
9、手話ダンス同好会だより 3 0号 H25. 9. 12	P 4 9
1 0、手話ダンス同好会だより 3 1号 H25. 9. 20	P 5 0
1 1、手話ダンス同好会だより 3 2号 H25. 10. 1	P 5 1
1 2、手話ダンス同好会だより 3 3号 H25. 10. 25	P 5 2
1 3、手話ダンス同好会だより 3 4号 H25. 11. 12	P 5 4
1 4、手話ダンス同好会だより 3 5号 H25. 11. 23	P 5 5
1 5、手話ダンス同好会だより 3 6号 H25. 11. 30	P 5 6
1 6、手話ダンス同好会だより 3 7号 H25. 12. 3	P 5 8



手話ダンス同好会だより 22号

22期生に講義

1月16日(水)、伊奈学園から依頼され、22期美術工芸科で「卒業後ボランティアの一例」と題し、手話ダンス同好会の活動を紹介してきました。22期美術工芸科の皆さんの中には、民話クラブで在学中から10回以上のボランティアをされている方や、課題学習の仲間紙芝居サークル「ふきのとう」を立ち上げ、年末に初舞台を踏まれた方など、半数以上がボランティア経験者であり、こちらも身の引き締まる思いでした。講義といっても、会の成り立ちや活動状況をお話しするだけでは時間がもちませんので、それらが終わったあとは全員で準備体操。次に、ふだん老人施設へ訪問した際おこなっている演技を一通り見ていただくことにしました。そして、その中に組み込んでいる簡単な手話ティーチングや「みんなで歌おう」のコーナーでは、見ている皆さんにも参加していただくようにしました。途中休憩のあとは、今や第2の国歌とも言える「ふるさと」の手話ダンスを、机を移動して全員が動けるようにし、ゆっくり時間をかけて皆さんに覚えていただきました。最後は、この日指導(?)したメンバーから、一言ずつ手話ダンスを続けている感想を述べてもらい、講義を終えました。始めは堅かった皆さんの顔も、終わりの頃には和やかになり、加えて予定時間より2~3分早く終わったこともあり、ますますだったのではないかと思います。(文:角田 写真:伊藤)



手話ダンス同好会総会、研修、懇親旅行

那須塩原温泉「かもしか荘」

専科1期手話ダンス同好会のメンバー13名は親睦を兼ね塩原温泉郷にて総会、研修を行った。

★日 程、平成25年3月10日～11日

★場 所、那須・塩原温泉「かもしか荘」

かもしか荘概要（大江戸温泉物語）＝塩原温泉郷に入った所で隣りは県医師会温泉病院が有り、湯量豊富な地区。泉質はナトリウム泉で神経痛、リュウマチ皮ふ病に良い。当館の売りは豪華な温泉施設、工夫をこらした朝夕のバイキング料理

★総 会 出席13名（全会員16名、出席率81%）

（下記1、2、3項了解される）

1、活動報告（練習回数22回、ヴォランティア回数10回、催し物回数4回、懇親旅行1回）・・・詳細資料添付

2、会計報告（3月末集計の為4月初めに報告することで了解される）

3、新役員披露・会長 角田さん ・副会長 川田さん ・会計 佐藤さん

★研 修、当日鎮目講師から新曲“里の秋”の手話ダンスが披露された。ゆったりとした優雅な踊りで全員気持ち良く踊ることが出来た。また当日鎮目講師から手話の無いカッコいいダンス（サンバ）も披露され、リズムに乗って若人の気持ちになって皆夢中に踊った。

★懇 親、旅行の最大の利点は温泉に入り、美味しい料理を食べる、いろいろなおしゃべりをする事で楽しい思い出作りができた。特に一つの部屋に集まり、手話ダンスを中心に日ごろ感じている事柄を全員一人ひとり話す機会が持て、お互い一層の理解が得られた。

平成25年3月10日

平成24年度 手話ダンス同好会総会・活動報告

●手話ダンスメンバー・・・鎮目講師以下15名（平成25年3月現在）

●手話ダンス歴代役員

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
会長	中村正武	川口昭士	埴恒雄	角田進
副会長	星澤恵美 三室京子	星澤恵美子	熊倉征子	川田なみ子
会計	大友武	杉本キソ	斉藤志津子	佐藤寿米子

●練習日、回数

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
3日	20日	8日	19日	5日	16日	10日	なし	7日	18日	11日	22日
10月		11月		12月		1月		2月		3月予定	
2日	20日	6日	1日 7	4日	22日	8日	26日	12日	23日	12日	23日

●ボランティア訪問活動履歴

4月	5月	6月	7月	7月	11月
伊奈	さいたま	さいたま	さいたま	上尾	上尾
ふくろう杜	GH土呂	ひばり	すずのき	ツクイ原市	ひまわり
11月	12月	1月	2月	3月予定	
蓮田	蓮田	蓮田	さいたま	さいたま	
蓮田園	フロー蓮田	翔裕園	諏訪の苑	すずのき CL	

●催物へ参加

*伊奈学園校友会ボランティア活動発表会出場

10月26日 12名で参加 聴衆約400名 聴衆者アンケート上位2位

*さいたま北公民館 茶話会

11月7日 3名参加 聴衆45名

*忘年会

12月22日 参加10名 そば処吉草

*伊奈学園22期授業で手話ダンス披露

1月17日 5名参加 生徒 20数名

●宿泊親睦会

*3月10, 11日 at 那須・塩原 13名参加

●24年度、年度末総会

*3月10日 at 那須・塩原 13名参加

予算実績の承認 新役員の承認



手話ダンス同好会だより 24号

吾亦紅に2度目の訪問

東北では満開の桜の花びらに5月もの雪が積もったという、約50年ぶりの寒さに襲われた翌日の4月22日（月）、一昨年8月以来の蓮田・吾亦紅（われもこう）への訪問です。ここはケアハウス部門やデイサービス部門など、さまざまな形の介護施設があり、入り口を間違えると係員に聞いても「知らない」と答えられてしまうほど大きな建物です。

★前回と違う会場の配置でしたが、今回の方が踊りやすいと感じたのは私だけだったでしょうか。いつものように手話ダンス3曲、3曲目の「ふるさと」をティーチング。続いて季節に合わせた「おぼろ月夜」「山小舎の灯」「こいのぼり」の3曲を皆さんと合唱しました。ところが、事前に持ち込んだ歌詞カードのコピーがされておらず、急遽、字の小さい方の歌詞カードでコピーしてもらったためか、読みづらそうにしていたのはお気の毒でした。そのせいもあってか、歌声が小さかったのは残念。

★後半、2曲を踊り終わったあと、少し時間が余ったので、サービスにもう1曲「上を向いて歩こう」を踊り、「また会う日まで」の手話を皆さんと交わしながら会場をあとにしました。（文：角田、撮影：塙）



今後の練習日程とボランティア訪問予定

12月までの練習日程と場所、これからのボランティア訪問予定については下記のとおりです。関心のある方は、のぞきに來てください。

1. 練習日程

7月 9日(火) 午前10時	県活 第1研修室
27日(土) 午前10時	大宮区宮町自治会館
8月 6日(火) 午前10時	大宮区宮町自治会館
24日(土) 午前10時	大宮区宮町自治会館
9月 3日(火) 午前10時	大宮区宮町自治会館
28日(土) 午前10時	大宮区宮町自治会館
10月 1日(火) 午前10時	県活 第1研修室
19日(土) 午前10時	大宮区宮町自治会館
11月12日(火) 午前10時	県活 第1研修室
23日(土) 午前10時	大宮区宮町自治会館
12月 3日(火) 午前10時	県活 第1研修室



2. ボランティア訪問予定

6月26日(水) 午後2時	ひまわり上尾 上尾市富士見1-6-24
7月22日(月) 午前10時半	フローラ蓮田 蓮田市黒浜3561-2
7月27日(土) 午後2時15分	ツクイ上尾大久保 上尾市上1072-3
8月29日(木) 午後1時45分	蓮田市コミュニティーセンター 蓮田市貝塚1015
9月12日(木) 午前11時	植竹高齢者生きがい活動センター さいたま市北区植竹町1-593-1
9月20日(金) 午後1時半	上尾だんらの家 上尾市柏座2-14-2
10月 1日(火) 午後2時	ふくろうの杜 伊奈町大字小室字大山上10304-8



手話ダンス同好会だより 26号

カタツムリの歌が大好評

6月26日、今年度3回目のボランティア訪問は、昨年11月にお邪魔した「家族の家ひまわり上尾」です。会場が横に広がって少しやりづらいのは相変わらずでした。2曲目の夕焼け小焼けでは、前回の振りをおぼろげに覚えている人がいて、だんだん乗ってきてくれました。

★歌のコーナーでは、3曲唄う前の発声練習代わりに歌詞を見ないで唄えるカタツムリの歌を、片手はチョキ・片手はグーでカタツムリの形を作りながら唄ってもらったところ、これが大好評。施設の方も覚えてこれからも使いたいと言われてしまいました。

★後半の最初は普段、老人施設ではやったことがない「ビリーブ」と「いつでも夢を」を、7月2日の暑気払いの予行演習として披露。ビリーブは予想どおり施設の人たちの方が注目していました。今回うれしかったのは、途中から2人増えたこと。どうやら楽しそうな雰囲気を感じ取って出てきてくれたものと、勝手に解釈しました。見ていただく皆さんに喜んでもらえることこそ、私たちがボランティア訪問を続けていく力となるのです。

(文：角田、写真：塙)



手話ダンス同好会だより 27号

H25. 7. 22 蓮田市の“デーサービス、フローラ蓮田”を訪問しました。

この施設の方から、手話ダンス同好会を指名して、イナ・ヴォイスに申し込まれたそうです。会場のディールームはハワイをイメージした絵、飾り、カーテン等を施した、明るく開放的な部屋です。この広い会場には女性19名、男性7名の26名がイスに座って、今か今かと一段高くなっているステージに注目している様子でした。ステージ上にカラフルなTシャツに、バンダナを首に巻いた姿で9名のボランティアメンバーが登場しました。

★先ず元気よく挨拶すると、会場の皆さんも拍手やにこやかな笑顔で答えてくれました。まず最初に手話ダンスを紹介してから、“四季の歌”に合わせて手振りで手話をしながら、手話ダンスを踊りました。すると皆さんは芹洋子さんの透通った歌声と色鮮やかな服装で手話ダンスをするボランティアの皆さんの姿にすっかり魅せられた様子でした。

★次に懐かしい童謡“夕焼け小焼け”を1曲で踊り次に歌詞に合わせて、手振りの一つひとつの意味を丁寧に説明し、再度この曲を会場の皆さんと共に踊りました。みなさん手振り宜しく体を動かし始める人もいて、会場は明らかに和やかな雰囲気になってきました。

★次に2曲の童謡を歌謡リーダーの素晴らしい歌声にあわせて皆さんと合唱しました。皆さんは、懐かしそうに頷いたり、手振りを交えて歌って下さいました。予定した時間が少なくなり、最後の曲“今日の日はさようなら”を踊り終わると皆さんなごり惜しそうにお互いに見合ったりしていました。すると空かさず、アンコールの掛け声がありました。アンコールの一曲目は“上を向いて歩こう”続いて“明日があるさ”を歌いながら踊りました。用意したアンコール曲はこれで終了しました。会場の皆さんからからの盛大な拍手の中で終了する事と成りました。ボランティアのメンバーはステージ上でお別れの挨拶し、次に全員ステージから降りて、会場の皆さん一人、ひとりに声をかけながら固い握手を交わしお互いの健康とまた会える事を約束していました。

★今回手話ダンス同好会の活動現場取材を見て、ボランティア活動する事は、如何にして、皆さんと一緒に楽しみ、心の触れあいをしていくかと言う事を、身に沁みて感じた次第です。（広報部 菊地 正光取材記）



手話ダンス同好会だより 28号

7曲踊ると……

7月27日、初めての訪問先「ツクイ上尾大久保」にお邪魔してきました。「ツクイ」は、全国539事業所、埼玉県内に23カ所の事業所を持つ介護サービスの大手業者で、以前、原市の方にはお邪魔したことがありました。この日は午前中に大宮の宮町自治会館で練習があったため、終了後、2台の車に分乗して出発。途中、お昼を頂いて大盛り上がりしたため、これで解散かと思った不届き者もいたようですが、そうはいかない。約束の2時前には施設に到着しました。

★本日の来所者は20人で、こちらが10人と大人数だったため、横一列に囲むように見物席が作られ、皆さんどんなことが始まるのか興味津々という趣きで我々を迎えてくれました。ルーチンな流れでは踊り2曲、歌3曲、そして再び踊り3曲で終了の予定ですが、最後の「今日の日はさようなら」が終わるや、施設の人から大きな声でアンコールがかかり（これは司会のHさんの仕込み）、もう2曲、計7曲踊ってお別れとなりました。

★この日は途中から、見ている方の中に涙ぐむ人を見受けられ、私たちもより一層演技に熱が入りました。お蔭で、7曲踊ったあとは汗が噴き出し、疲れも感じましたが、お一人お一人との握手の際、「良かったよ、また来てね」の言葉に、折しも上がった夕立の如く、爽快な気分施設をあとにしたのでした。その晩のビールが格別だったのは言うまでもありません。（文：角田、写真：塙）



手話ダンス同好会だより 29号

ボランティア発表会リハーサル?

8月29日およそ1月ぶりのボランティア活動、今回は蓮田市シルバー人材センターの主催で年2回ほど開催されている「演武発表会」に出演しました。私たちには「演舞」の方が相応しいのですが、この日は18期生の太極拳の披露もあり、そちらの表現になったのでしょうか。会場の蓮田市コミュニティセンターに着くと、何だか知った顔ばかり。本日の出演は全てイナ・ヴォイスがらみで、18期から21期生、専科1期生の勢揃いでた。★私たちの出番はトリの45分間で、会場は天井が高く音響の良さそうな講堂に、観客はちょっと寂しい25人ほど。そこに出番を終えた先輩たちも見守るなか、いつものように「四季の歌」からスタート。アレッ、先輩たちは1曲終わったら帰ってしまわれました。そんなことにもめげず、普段と違ってお元気な方ばかりの観客ですから盛り上がり違います。「夕焼け小焼け」のティーチングはバッチリ。続く歌のコーナーでは、持参のCDを機械が読み取ってくれないというハプニングがあり、急遽、帰り支度中の先輩のCDラジカセをお借りしてしのぎましたが、こんなことは初めてです。でも皆さんテンポの速い歌も遅れずについてきてくれました。結局、予定どおりの時間でダンス7曲、歌3曲を披露してきたのでした。(文：角田、写真：埴)



手話ダンス同好会だより 30号

敬老の集いは楽しく厳しい

9月12日、またもや30度を超える暑さのなか、大宮植竹町にあるさいたま市高齢者生きがい活動センターにお邪魔しました。ここでは毎月、独居の高齢者を招いて昼食会を行っており、その食事づくりも地域婦人会のボランティアです。ちょっと覗いた会場のホワイトボードに書かれた議事次第を見ると、なんと本日が200回目。こんな区切りの良いときに呼ばれ光栄と、勝手に受けとめたのでした。

★11時に係の人が控室に呼びに来て会場に入ると、およそ40人の皆さんが待ち構えてくれていました。この日の出演人数は主催者側からの要請で4人です。4人ではその他大勢という立場に逃げるわけにも行きません。いつものように2曲目の「夕焼け小焼け」では、最初に我々が踊ったあと会場の皆さんにティーチング。そして再度踊った様子が下の写真です。公民館での催しは反応がストレートに來ますから、より一層真剣になります。ところが唄のコーナーで大失敗。いつもは3曲歌うのですが、この日は全部で30分という持ち時間のため2曲に減らしたものの、用意したカラオケCDは次回9月20日のもので、1曲はアカペラになってしまいました。

★こうして後半3曲のつもりが時計を見ると2曲でタイムアップ。ちょっとMC（司会）がおしゃべりしすぎたようですが、40分位やらないと物足りなくなってきたのは進歩なのでしょうか。終了後は私たちも一緒に美味しい昼食を頂き、こちらは大満足なのでした。（文：角田、写真：主催者）



手話ダンス同好会だより 31号

カメラを忘れた!!

9月20日、先週に引き続き公民館へのボランティア訪問です。今回は、筆者地元の上尾駅西口・春日神社境内にある柏座公民館2階の社協サロン「だんらの家」に行ってきました。建物の前には自転車が10台近く。皆さんのお元気がうかがわれます。約束の1時30分少し前に会場に入ると、すでに20人ほどの皆さんがおしゃべりに花を咲かせており、一角では集金の真っ最中。聞くと今度のバス旅行費用の事前徴収とのことでした。会場は畳敷きの大広間で、そこに座テーブルをコの字に並べ空いている一角が舞台代わりという寸法です。このサロンは、主に柏座3丁目にお住まいの高齢者で構成されており、1か月に3回開催されている活発なグループです。お歳を聞くと一番若い人で昭和15年生まれ、最高齢は92歳の女性ですが、踊りのお師匠さんだったそうで、背筋も伸びており大変お元気そうでした。

★いつものように2曲目の「夕焼け小焼け」のティーチングは、介護施設と違ってバッチリ。歌のコーナーも、会場に立派なカラオケ装置があるくらいで、普段から声を出していると見え、「もみじ」では素敵な合唱になりました。終わったあとは畳の会場の気安さ、皆さんとお茶・お菓子を頂き、またの再会を約してお別れしました。今回はカメラを忘れてしまったため、当日の様子を画面でご紹介できず、拙文だけで申し訳ありません。

(文：角田)



手話ダンス同好会だより 32号

再度のアンコールに応じて8曲!!

10月1日、伊奈のデイサービス施設「ふくろうの杜」にお邪魔しました。ここは2回目の訪問ですが、前は24年4月で1年半ぶり。その時は開設後半年経過したくらいで音響設備がありませんでした。今回の訪問はその点も出演の条件の中で、何だか凶々しいボランティアです。通所者も前回からぐんと増えてほぼ定員の29人。まずは商売繁盛でおめでとうございます。

★定刻の2時スタートで、いつものように四季の歌、夕焼け小焼けの手話ダンス。ティーチングも皆さん良くついてきてくれました。歌のコーナーは、このところ青い山脈とリンゴの唄を交互に歌っていますが、この日は10月に入ったこともあり、終戦の年の8月からわずか1か月半、10月10日に封切られた松竹映画「そよ風」の挿入歌・リンゴの唄にしました。皆さん前奏が始まるとパッと明るい顔になり、大きな声で歌ってくれます。加えて、会場となった食堂の天井は舟形の現しですから響きの良いこと。実に気持ち良く歌えるホールです。

★さて後半は、予定では4曲踊ってお別れのつもりでしたが、アンコールの声がかかり、これは準備していた「見上げてごらん夜の星を」を情感たっぷりに踊りました。そして一人ひとりお別れの握手を始めたところで、更にアンコールの声が……。急遽「いつでも夢を」を踊って終わりとなりました。こうして踊り8曲、歌3曲、時間にして55分の公演は、5月の東公民館と並ぶ最長となりました。(文：角田)



手話ダンス同好会だより 33号

ボランティア活動発表会に出場

10月25日、第4回ボランティア活動発表会に出場しました。今年で3年連続となり、そろそろ卒業になるかも。ただ、伊奈学園校友会のこの催し物は、他の学園の「芸能祭」と異なり、普段ボランティア活動を実践しているグループが優先的に出場するので、来年も申込数いかんでは、逆にイナ・ヴォイスからお声がかかるかも知れません。

★今回は、グループの紹介をプロジェクターを用いて行うということで、最初の5分位は本会の成り立ち、練習スケジュール、4月からの訪問実績とその様子、の順に投影・紹介しました。続いて、いつもボランティア訪問で行っている「みんなで唄おう」のコーナー、この日は会場の皆さんに参加していただき、「紅葉」を唄いました。た。

★最初の踊りは、手話ダンスではなくレクダンスの「ギンギラギンにさりげなく」。曲目を紹介すると会場から「ホーッ」という声が聞こえるなか、4分間の踊りに集中しました。実は本番前、リハーサルで3回踊っており、これが4回目。途中から少し足に来たのが情けない。踊り終わって息を切らせながら次の曲「里の秋」を紹介したのは多少演技も入っていましたが、歌を先にしたのは正解でした。里の秋で息を整え、最後はようやく覚えた「明日があるさ」で締めました。予定の20分はパソコンと音響担当のお二人のスムーズな操作のお蔭で、2分残して終了となりました。

★さて今回の人気投票、結果は昨年に引き続き2位となり、奥ゆかしさのなかに実力が地に付いたと言えるのではないのでしょうか。(文：角田、撮影：イナ・ヴォイス)





○ 発表内容・・・15団体の方々。内容は下記プログラムの通り

NO	演 目	団体名称	代表者 卒業期
1	ふしぎな胡弓(バトナムのむかし話)	民話を楽しむ「いなば会」	13期
2	アクティブ(剣、扇)太極拳	18期太極拳クラブ	18期
3	相撲甚句の吟唱	武州伊奈相撲甚句会	14期
4	車いすダンス 手話ダンス	りんりんの会	15期
5	マジックの実演	伊奈マジッククラブ	22期
6	簡化24式太極拳	専科2期太極拳クラブ	専科2期
7	「けいわ」演奏トーンチャイム	「ひまわり」	18期
(昼 休 み・・・・・・・・50分間程度)			
8	手袋人形 人形劇	劇団「あかずさん」	4期
9	キーボードとマンドリン演奏	ヴァンパール&こまくさ	18期
10	山の背くらべ 貧乏の神と福の神	民話の会「いなぼっち」	22期
11	合唱4曲	わらべ歌の会	17期
(休 憩 ・・・・・・・・10分間程度)			
12	音楽に合わせ、手話ダンス	● 専科1期手話ダンス同好会	専科1期
13	南京玉すだれ	いきがい玉すだれ	19期
14	オカリナ演奏・合唱	どん・マロン	17期
15	ものまね 五木ひろし他	彩央会「一芸一座」	19期

閉会の辞 副実行委員長(イナ・ヴォイス代表) 齊藤 伸之

手話ダンス同好会だより 34号

練習後はボランティア訪問

11月12日、午前中は県活で練習。今日から新入会員の大場さんが練習に加わりました。最初は大変だと思いますが、少しずつ覚えていっていただき、一緒にボランティア訪問ができるようになればと期待しています。昼食後、2台の車に分乗し、見沼のデイサービス「そよ風」にお邪魔しました。こちらへは初めてですが、20期安来節同好会の皆さんが何度も訪問しているようです。建物入口には「歓迎 手話ダンス同好会」と書かれた看板が置かれており、施設側の心遣いに良い気分になりました。

★風呂場の脱衣所で身支度を整えて迎えを待っていましたが、約束の2時になっても迎えに来ません。様子をうかがうと、皆さんで体操をしています。10分近く経ってからようやく案内に従ってホールへ入場。ここは建物の構造上か、ホールの中央付近に太い柱が2本あって、死角になる席があるのはちょっと残念です。いつものように前半では2曲目の「夕焼け小焼け」をティーチングしたあと皆さんと一緒におさらいしました。それにしても、音響のCDラジカセが床の上に直に置かれているので操作が大変。歓迎看板と同じような心配りが欲しいところでした。歌のコーナーは、最近忘れ物の多い筆者が、またもや伴奏CDを忘れてアカペラで……。困ったものです。後半になるとみんなで唄った元気が継続し、「里の秋」では私たちの踊りを唄いながら見てくれました。「今日の日はさようなら」で予定していた6曲を終わりましたが、少し時間が余ったので「見上げてごらん夜の星を」をアンコール曲としました。演技終了後は、いつものように皆さんと握手し、またの再会を約束して帰路につきました。(文：角田、撮影：大場)



手話ダンス同好会だより 35号

残念！尻切れトンボ

11月23日、今日は勤労感謝の日ですが、無職の身には関係ありません。午前中は大宮宮町自治会館で練習、午後は白岡町の介護付有料老人施設「あんしんホーム白岡」へのボランティア訪問です。ここはどうしても土曜日に来てほしいという要請で、この日にお邪魔することになりました。入居定員は55名ですが、この日ホールに集まってくれたのは約30名。半分くらいが車イスで最高齢はなんと102歳！ その方が一番前に陣取って興味深げに待ち構えていました。

★定刻の2時を少し廻った頃呼び出しがあり、いつものように2曲踊って2曲目の「夕焼け小焼け」をティーチング。デイサービス施設と違って一緒に手を動かしてくれる人は3割ほど。これは致し方ありません。でも歌のコーナーになると全員参加になりました。なかでも、お一人の男性は大きな声で唄ってくれました。後半は「ふるさと」から始まり、「見上げてごらん夜の星を」までは良かったのですが、「里の秋」の途中から伴奏音楽を流していたCDプレーヤーの具合がおかしくなり、まるで昔の電蓄（古いネー）みたいに飛んだり戻ったり、同じところを繰り返したり、踊りになりません。「今日の日はさようなら」に曲を変えても同じような状態が続き、仕方なく、“また会いましょう”の手話を皆さんに教えてお別れの挨拶を交わし終了しました。施設の人には、プレーヤーの読み取りレンズの汚れではないかと助言し、もう一度お邪魔するときにはきちんと終わりにしたいので手入れをしておいて欲しい旨お願いしてきました。（文：角田、撮影：大場）



手話ダンス同好会だより 36号

手話ダンス交流発表会に参加

11月30日、さいたま市や川越市で手話ダンスを楽しんでいるグループ3団体が合同で開催した「手話ダンス交流発表会」に参加しました。会場は、さいたま市北区のプラザノース2F・多目的ルームです。開演は午後1時ですが、私たちは午前10時に集合し、舞台上の立ち位置の確認や振り・ステップのおさらいと、普段のボランティア訪問とは比べものにならない緊張感の中で時を過ごしました。この日の私たちの演目は3曲で、出番は3番目に「ギンギラギンにさりげなく」、8番目が「見上げてごらん夜の星を」、そして13番目の「明日があるさ」です。一昨年、初参加したときは県活の小ホールだったのですが、観客は出演者が交互に見るような感じだったので、今回もそうかと思っただけにあらさならず。舞台袖から覗くと数十人の方が見えており、中には耳の不自由な人もおられるようで、これは頑張らねばと闘志が湧きました。

★この交流会でのほかのグループは、それぞれの曲目により出番ごとに衣装を取り替え、メンバーを変え、踊りのフォーメーションも凝ったものを見せてくれます。私たちも一昨年は3曲とも同じ衣装でしたが、今回は多少目先を変えようということで女性陣は赤いブラウスを新調。写真のように一応は3曲とも変えてみました。ただし、今後とも舞台衣装にお金を掛けるつもりはありません、……と思います。また、どの曲も全員で踊るのは相変わらずで、これは私たちの会の目的が会員同士の懇親を深めることとボランティア訪問ということで、1年に1度の発表会を目指して精進しているほかのグループと異なるのは仕方ないことでしょう。とは思いつつも、前回の時より技量の差を感じたのは、少し残念な気がしました。終わりに、当日会場に来てくれた皆さんの拍手、とりわけ健康づくりコースの同級生・Oさんの声援に感謝。(文：角田、カメラ：くわはら)





手話ダンス同好会だより 37号

今年最後のボランティア訪問

12月3日、先月23日からの10日間で3カ所目となりました。同時に、今年最後のボランティア訪問でもあります。午前中は県活で練習し、コバトン食堂でランチタイム。午後は上尾市の特別養護老人ホーム「パストーン浅間台」のデイサービスにお邪魔しました。入口を入ると、明るく広い玄関ホール左手にケージが……。なかには可愛いトイプードルがいました。いわゆるセラピードッグのようです。また、中庭にはニワトリが一羽見えます。とても良い雰囲気、私たちも心が和む思いがしました。

★定刻の2時ちょうどに呼び出しがあり会場に入ると、窓を背にした踊るスペースに向かって横に広くイスが並べられていました。初めのうちは30人ほどの観客でしたが、途中から人が増え、終わりの頃には40人近くになりました。この日先生には、3日前の発表会で全力投球したためか足の痛みが再発してしまい、生徒5人が一列に並んで踊ることにしました。ただし、2曲目の「夕焼け小焼け」のティーチングだけは先生にお願いしました。この時どれくらいの方が手を動かしてくれるか、続く歌のコーナーでもどのくらい大きな声で唄ってくれるか、デイサービス施設によって違います。ここは初めての訪問にしては良い反応で、また施設の人も音響機器の操作をしてくれたり、次回以降が楽しみになりました。後半は3曲の予定した演目のほか、2曲のアンコールに応え、皆さんと再会を約す握手でお別れしました。(文：角田、撮影：鎮目)



H 2 6 年動報告

目次

1、手話ダンス同好会だより 3 8 号 H26. 1. 25	P 6 1
2、手話ダンス同好会だより 3 9 号 H26. 1. 29	P 6 3
3、手話ダンス同好会だより 4 0 号 H26. 2. 22	P 6 4
4、手話ダンス同好会だより 4 1 号 (総会) H26. 3. 29	P 6 5
5、練習日程とボランティア訪問日程 H26. 3. 29	P 6 6
6、手話ダンス同好会だより 4 2 号 H26. 4. 26	P 6 7
7、手話ダンス同好会だより 4 3 号 H26. 5. 13	P 6 8
8、手話ダンス同好会だより 4 4 号 H26. 6. 3	P 6 9
9、手話ダンス同好会だより 4 5 号 H26. 7. 8	P 7 0
1 0、手話ダンス同好会だより 4 6 号 H26. 9. ?	P 7 1
1 1、手話ダンス同好会だより 4 7 号 H26. 9. 24	P 7 2
1 2、手話ダンス同好会だより 4 8 号 H26. 10. 9	P 7 3
1 3、手話ダンス同好会だより 4 9 号 H26. 11. 22	P 7 4
1 4、手話ダンス同好会だより 5 0 号 H26. 12. 2	P 7 5



手話ダンス同好会だより 38号

初めての2回公演

1月25日、26年最初のボランティア訪問は、大宮共立病院とその敷地内にある老健ケアセンター「のぞみ」へお邪魔しました。この日は先生が体調不良でお休みとなり、およそ2年半ぶりに先生抜きでの公演となりました。当初は午前中、宮町自治会館で練習し、昼食後に出発予定だったのですが、予約受付窓口のダブルブッキングで地元自治会の会議が優先され、哀れ私たちの練習はなくなってしまいました。

★共立病院は大宮駅東口からバスで25分、今までで一番遠かったかも知れません。なんてって片道300円ですから……。最初の訪問先・のぞみに到着すると、玄関ホールには施設で作成した素晴らしいポスターが貼られていました。開始時間の1時30分まで15分くらいしかなく、あわてて上着を脱いでいつものTシャツ姿になると会場へ。こちらの観客はデイサービスの皆さんで、元気に挨拶を交わしたあと早速踊りに入りました。今日は2カ所で行うため、1カ所では30分の時間しかなく、踊り5曲に歌2曲、しかも先生がいないためティーチングはありません。15分短縮すると負担がずいぶん違います。それでも5分オーバーしてしまったため、終演後の握手は省略して次の会場・病院の療養病棟へ移動。こちらはほとんどの方が車イスでした。ところが、機械が悪いのか、CDが悪いのか、音飛びの連続で踊りづらいこと。とうとう後半の2曲は伴奏なしのアカペラで歌いながらの踊りとなりました。病院の職員さんも歌ってくれてそれはそれで一体感がありました。お詫びの意味もあり全員と握手を交わしてお別れしました。

★こうして初めてのダブルヘッダー公演でしたが、どちらの職員さんも歌詞カードを大きな模造紙に書いて用意してくれるなど対応が良く、もう一度行ってみたい施設ではありました。(文：角田、撮影：施設)





いきがい大学伊奈学園 手話ダンス同好会

手話ダンス公演

みなさんと一緒に「冬の星座」「冬の夜」を歌ったり、踊ったり、楽しい時間を過ごしましょう！！

日時・場所
平成26年1月25日(土)
13:30~14:00 1階ホールA

お問い合わせ
高齢者福祉課のぞみ
さいたま市見沼区片柳1-387の1
TEL 048-690-1111

手話ダンス同好会だより 39号

24期生に講義

1月29日、伊奈学園からの依頼で、24期福祉・環境科の皆さんに「卒業後のボランティア活動の一例」というテーマで講義を行いました。会場は福祉・環境科のいつもの教室の反対側、306セミナー室です。この日の出席者は5人欠席がいて24人。前2列の机を脇にどかして踊るスペースを作っても、残りの席に2人座りで余裕でした。

★このクラスにはフラダンスのインストラクター、合唱を50年以上やっている人、24期コーラスクラブの部長、専科4期校友会の手話クラブの部長など才能豊かな方が多く、私たち5人も少し緊張しながら皆さんを迎えました。講義の初めは同好会設立の経緯から今年度のボランティア活動状況などを説明し、皆さんと一緒に「思い出のグリーングラス」に合わせて準備運動。続いて「夕焼け小焼け」のティーチング。ここで昨年12月に行われた埼玉県聴覚障害者協会の大橋先生からの手話の講義内容を確認し、休憩後の指導曲は「四季の歌」に決定。ところがその後、歌を2曲皆さんと大きな声で唄ったあとの「明日があるさ」で、CDの音飛びが発生。どうも備え付けの機器の不具合と思われましたが、ひょっとしてCDそのものが悪いのか…。急遽カセットテープに取り替えて先日の共立病院のような醜態は見せずに済みました。

★こうして、予定の2時45分を2分余して無事終了。その後、1人の方から「卒業後入部したいが入れますか」との嬉しい言葉をいただき、あと1年半は続けなければと思ったのでした。(文：角田、撮影：大場)



手話ダンス同好会だより 40号(2/22)

3週連続は降りませんでした

2月8日、2月14日と2週続けての大雪で、この冬はどうしてしまったのだろうと思われた方も多い事でしょう。このような異常気象は原発施設の停止により、温排水が海に流れ込まなくなったせいという、マスコミには出てこない説の信憑性が高まってきた感です。天気の周期は7日サイクルというので22日も心配していましたが、さすがに3週連続の雪とはならず、無事グループホーム土呂へ2回目の訪問となりました。ただ、開始時間に関して双方の意思の疎通が十分でなく、私たちが考えていた時間よりも30分ほど遅れてのスタートとなりました。

★前回(24.5)の訪問時、坂本九さんの歌が好きな人がいて、アンコールで彼の歌を2曲踊りましたが、今回は初めから演目に入れ、更にその後覚えた「明日があるさ」も加えるなど、万全を期しての登場です。会場は前回と変わって2階の広間で、そこに18名の入所の方が集まりました。この施設は、認知症介護も含まれますが、それ程重症の方は見あたらず、とてもやりやすい雰囲気でした。全体にノリが良く、歌のコーナーでは皆さん大きな声で唄ってくれましたし、はじめにティーチングした「夕焼け小焼け」への反応も良く、後半の曲でも見よう見まねで手を動かしている人がいらっしゃいました。更にアンコールでは、皆が参加できるようにと「夕焼け小焼け」が要望され、介護するスタッフの前向きな運営が印象に残り、また行ってみたい施設となりました。今度お邪魔するときまでには、九ちゃんの歌をもう1曲マスターすることにしましょう。(文：角田、撮影：塙)



手話ダンス同好会だより 41号(3/29・総会)

手話ダンス同好会 平成25年度活動報告

1. 練習回数 4月9日～3月29日 23回
2. ボランティア訪問 14回
4月22日蓮田 吾亦紅、 9月20日 上尾だんらんの家
5月 9日大宮東公民館、 10月 1日 伊奈ふくろうの杜
★ 6月26日ひまわり上尾、 11月12日 見沼 そよ風
7月22日フローラ蓮田、 11月23日 あんしんホーム白岡
★ 7月27日ツクイ上尾大久保 12月3日 パストーン浅間台
8月29日蓮田コミセン 1月25日 大宮共立病院
★ 9月12日植竹地区社協 2月22日 グループホーム土呂
3. 発表会
★ 10月25日 ボランティア活動発表会 於 県活小ホール
11月30日 手話ダンス団体交流発表会 於 プラザノース
4. 在校生への講義
1月29日 伊奈学園23期 福祉・環境科
5. 期末総会
3月29日 於 大宮徳樹庵
6. 役員の推移

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
代 表	中村正武	川口昭士	埴 恒雄	角田 進	角田 進
副代表	星澤恵美子 三室京子	星澤恵美子	熊倉征子	川田なみ子	
会 計	大友 武	杉本キノ	齊藤志津子	佐藤寿米子	星澤恵美子 子

今後の練習日程とボランティア訪問予定

本年9月までの練習日程と場所、これからのボランティア訪問予定については下記のとおりです。

1. 練習日程

3月29日(土) 午前10時	大宮区宮町自治会館
4月8日(火) 午前10時	県活第1研修室
4月26日(土) 午前10時	大宮区宮町自治会館
5月13日(火) 午前10時	県活第1研修室
5月24日(土) 午前10時	大宮区宮町自治会館
6月3日(火) 午前10時	県活第1研修室
6月28日(土) 午前10時	大宮区宮町自治会館
7月8日(火) 午前10時	県活第1研修室
7月26日(土) 午前10時	大宮区宮町自治会館
8月5日(火) 午前10時	大宮区宮町自治会館
8月23日(土) 午前10時	大宮区宮町自治会館
9月9日(火) 午前10時	県活第1研修室
9月27日(土) 午前10時	大宮区宮町自治会館
10月7日(火) 午前10時	県活第4会議室

2. ボランティア訪問予定

4月26日(土) 午後2時	ツクイ上尾原市 上尾市原市団地4-19-105
5月13日(火) 午後2時	伊奈病院一心館 伊奈町小室8113

手話ダンス同好会だより 42号

4年目に突入です

私たち手話ダンス同好会も設立後4年目を迎えることとなりました。過去3年間でのボランティア訪問回数は合計35回で、ほぼ1か月に1回の割合です。会員数は当初に比べると半分以下となり、だいぶ寂しくなった感は否めませんが、今後もできる限り続けたいと思っています。以前にもお願いしましたが、入会者を募集していますので、やってみたい方は是非お声を掛けてください。

★4月26日、平成26年度最初のボランティア訪問は、およそ2年ぶりとなったデイサービス施設のツクイ上尾原市です。ここは同じ専科1期の太極拳クラブが2か月に1回、定期的に訪問しているところです。ところで、介護施設にもいろいろあり、曜日によって入浴との絡みから、その日は都合が悪いと言われることもあります。一般に土曜日は来所者が少ない傾向にあり、これは面倒をみている共稼ぎの夫婦が土日は自分たちでやっていることの表れかも知れません。この日の観客(?)は18人でした。

★今回は、先生が腕を骨折し手術をされたため、無理をしてはいけないと、歌のコーナーを1曲増やして時間を稼ぎ、ティーチングはやらないつもりだったのですが、会場から是非の声が掛かり、とうとう先生に登場してもらうことになってしまいました。これも私たち生徒が、いつまで経っても1人立ちできないからと、反省した次第です。ということで、歌4曲、踊り7曲プラスアンコール1曲で50分間、皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。また、終了後は職員の方の手作りによる冷えたわらび餅をいただき、身も心も満足して帰ったのでした。(文:角田、撮影:埴)



手話ダンス同好会だより 43号

また カメラを忘れました！

学園は伊奈町にあるのに、意外に伊奈町内の施設でボランティア訪問が少なかった我が同好会、今回は伊奈病院となりにある介護老人保健施設・一心館にお邪魔しました。

★5月13日、午前中はいつもの県活第1研修室で練習。今日からSさんが復帰です。温かくなったら……とのことでしたが、もはや暑い時期となりました。手話ダンスくらいの運動は心臓に負担はありませんよね。

★一心館は2階から4階の入所者が100人を超える大きな施設です。暗証番号付きのエレベータ（！）で2階に案内されると、そこにある機能回復訓練スペースに70人近い方が集まりました。ほとんどが車イスでしたが、皆さん「手話ダンスって何だろう」という感じで待ち構えているようでした。予定どおり午後2時に公演開始。この日はいつも司会をしてくれるHさんが用事でお休みのため、進行はTさん。その代わり音出しは施設の人が付きっきりで対応してくれました。2曲目の夕焼け小焼けのティーチング、うーん、デイサービスと比べると今一かなあ。でもそのあとの歌のコーナーではかなり盛り上がっていました。後半、進行のTさんが出し物を1曲飛ばしてしまい、終わったあと仲間に突っ込まれていました。

★ということで今回、カメラを忘れてしまったため公演中の写真がありません。せめてもということで、翌日撮りに行った施設の外観写真でお許しを。



手話ダンス同好会だより 44号

ずいぶん若い人が……

5月末から30度を超える日が続く、今年は冷夏と言っていたのはどこの誰だと突っ込みたくなる中、ようやく少し楽になったかと思ったら今度ははや梅雨入りか。まったく近頃の天候には驚きを通り越して不安が一杯です。

★それにしても今回の五木寛之講演会の申込みは凄まじかったようで……。聞くところによると、9時開始の10時には売り切れ。県活に43番で並んだ人が買えなかったとか。すべては1人で10人分まで申し込めるシステムのせいかな？ そりゃー、受付する方としては1人1枚よりは楽でしょうからねえ。

★そんな愚痴はともかく、6月3日、午前中は県活で練習のあと、午後からは大宮公園駅すぐそばのデイサービス「ひばり」にお邪魔しました。ここは2階から上がマンションになっており、オープンしてからまだ半年くらいようです。時間までと2階の一室に案内されましたが、そこは3LDKの間取りとなっていました。暫くしてお迎えがあり施設の玄関に入ると、正面のガラス越しに全自動の雀卓。下見に行ったときは4人が楽しそうに囲んでいました。さて、本日のメンバーは6人、会場には通所者14人と介助の職員さんたちが待ち構えていました。お顔を見ると若そうな方が多いというのが第一印象。それに狂いはなく、夕焼け小焼けのティーチングではほとんどの人がついてこられましたし、歌のコーナー2曲目は昭和22年作の「山小舎の灯」。ここで1人の方から「生まれる前の歌だ」というつぶやきがあったそうで、とうとう自分より若い人にボランティア訪問することになったなあという思い。それは同時に、あちら側でなく、こちら側にいる幸せを感じた瞬間でもありました。(文：角田、写真：埴)



手話ダンス同好会だより 45号

3箇所目のグループ施設

7月では過去最強だという台風が日本列島をうかがっていた8日、いつものように午前中は県活で練習のあと、午後からはツクイ北本にお邪魔しました。ここは介護サービスの大手業者で、北海道から沖縄まで全国47都道府県全部に事業所があり、県内にも24箇所の施設があるそうです。今までにツクイ上尾原市とツクイ大久保に訪問したので、ここが3箇所目です。訪問前の腹ごしらえは、県活の食堂ではなく途中で摂ろうと、R17号沿いに新しくできた和風レストラン「I」に向かいましたが、広い駐車場は平日というのにほぼ満車です。全席個室という造りが評判のようで、ここはあきらめ北本の「T」で1時間半の豪華な昼食というか時間調整。とは言っても、Sさんの追加注文のかき氷を平らげるのは大変だったようです。

★ツクイ北本は、北本駅から徒歩8分の住宅街のなかにあり、デイサービスには大きな建物と、広い駐車場が印象的な新しい施設でした。この日の通所者は女性14人、男性3人の17人で、ダンスホールとしても使えそうな大広間が会場です。午後2時、7人でいつものように皆さんにご挨拶し、返事の声の大きさを元気度をチェックします。ここも前回と同じく若い人もちらほら見られ、反応は良さそう。前半の踊り3曲、歌のコーナー3曲、後半の踊り3曲は、最近のルーティンとなりました。なかで3～4人の方はずっと手振りを真似しながら見ていてくれました。アンコールにはHさんが20日に娘さんの結婚を控え、披露宴の余興で親から娘へ送る出し物「ビリーブ」を当日のリハーサル代わりに踊り、握手でお別れしました。また訪れてみたい施設でした。(文：角田、写真：施設)



手話ダンス同好会だより 46号

3回目の訪問です

8月は練習はしたもののボランティアの方は夏休みとしていましたが、9月になり季候も良くなったところで最初の訪問は、大宮すずのきクリニックのデイサービス部門です。今まで2回訪問した施設は何箇所かありましたが、3回目はここが初めてです。顔なじみとなった施設の人に案内されたのは、これも今までの3階ではなく2階。会場には前2回の時よりも遙かに大勢のおよそ60人の皆さんが集まっていらっしゃいました。ただ、イスの並びは変わらず2方向から見ていただく配置のため、私たち7人も二手に分かれて踊る形となります。

★いつものように手話ダンス2曲、2曲目はティーチング付き、そして歌のコーナー3曲、ここまではすっかりルーチン化しています。後半4曲のうち3曲目の「見上げてごらん夜の星を」の最後の部分で突然、CDの調子がおかしくなりました。あわててカセットに切り替え、事なきを得ました。「今日の日はさようなら」で一応の終了予定でしたが、アンコールの声がわき起こりました。アンコールには尻切れになった「見上げて…」という声もありましたが、明日も元気に過ごしていただくということで「明日があるさ」で明るく締めました。会場がイスで一杯だったため、お別れの握手を全員と交わさそうもなく、不公平になってはいけないので、大きな声でお別れをさせていただきました。(文：角田、写真：塙)



手話ダンス同好会だより 47号

2回目の訪問です

私達7名はさいたま市大宮区北公民館の要請で、9月24日2回目の手話ダンス訪問活動を行いました。この日は大宮区北部地区の高齢者茶話会があり、そのプログラムの一部に手話ダンスが組まれていました。会場は8か所にテーブルが置かれ、各テーブルには6名の方が着席しておりさらに追加の方も見受けられ50数名の方で満員でした。冒頭に会の責任者の方のお話がありましたが、マイクの調子が良くないこともあって、会場は隣同士お話する人もいて、ざわめいていました。

★最初に私達の出番です。やはりマイクの調子が悪く焦りましたが、マイク位置を変えると正常になり助かりました。手話ダンスの持ち時間は20分と聞いていたので、会の紹介後早速演舞を始めました。演舞曲は順に“見上げてごらん夜の星を”、“里の秋”、“そして思い出”、“カレンダーガール”“明日があるさ”そして最後の曲は“ともだち”と6曲です。私達が演舞を始めると、会場はピタリと静かになり、会場の方全員の視線がこちらに向いているのを強く感じました。デーサービス会場とは異なり皆さん真剣に見てくれました。

★今回女性の衣装は飾りのある赤の長袖で統一し、見栄えする衣装でした。また、手話ダンスも好評でしたが、ダンスだけの“カレンダーガール”も若々しさが出て大変好評でした。時間は20分を超しましたが、会場から自然にアンコールの声が出てきました。それも通常聞かれない男性の方からの声でした。大変印象が良かったのだと思いました。控室に戻った時にも、次々に人が来て踊りも選曲も大変良かったとの感想が聞かれました。伊奈学園13期の女性先輩も来てくれ称賛の言葉を頂きました。私達は会場の皆様に感謝して、北公民館を後にしました。(文、写真 埴)



手話ダンス同好会だより 48号

古民家で踊る

埼玉県には幸い被害の少なかった台風18号が通り過ぎた10月7日、伊奈町役場のそばにある古民家デイサービス「いぶき」にお邪魔してきました。ここは築80年の古民家を、テレビ番組のビフォーアフターよろしく大改造し、介護施設にしたものです。玄関を入ると、太い梁が表しとなっており、その迫力に圧倒されました。

★この日の来所者は週の中で一番少ないという6人。98歳、97歳、96歳のおばあさんトリオに男性2人。一番若そうな秋田生まれの女性が無だかしっかり者に見えました。ということで、私たちと同人数。いわばマンツーマンのボランティアです。会場は8畳二間の続き部屋で、床の間を背にした片方の8畳間がステージ、もう一方の8畳間が観客席、文字通り目の前で踊る感じです。始めた頃なら怖じ気づいて逃げ出したくなる環境ですが、今や心臓の方もだいぶ進歩したとみえ、臆せず踊り出しました。一人耳の遠い人がいるということで、司会のHさんも大きな声で話しかけますが、離れると聞こえないようで、施設の人が耳のそばで日本語から日本語への通訳です。

★ところが唄のコーナーになると、あまり聞こえないはずのそのおじいさんが、ちゃんとテンポを外さずに唄っているではありませんか。もっともこちらもおじいさんに向けてできるだけ大声で唄ったからかもしれませんが、何だか不思議な気持ちになりました。後半の踊りでは、私たちの手振りを追いかけるように真似てくれ、頭と身体の良い運動になったのではないかと思います。お別れの握手は少人数のためいつもより念入りに行いました。施設の人からは、桶川にある関連施設の方にも訪問してほしいとの依頼を受け、また一つ、行き先が増えたのでした。(文：角田、写真：埴)



手話ダンス同好会だより 49号

お久しぶりです

11月22日、前回から1か月半ぶりのボランティア訪問は、大宮堀の内にあるデイサービス・白菊苑です。実はこの間、1か所お邪魔する予定があったのですが、メンバーのうち2人が腰痛、1人が風邪と、歳をとるにつれあちこち痛んだり弱くなったりでメンツが揃わず、予定していた施設にお詫びの電話を入れたのでした。

★白菊苑は、私たちがボランティア訪問を始めた平成23年の6月と9月に2回続けて行って以来、本当に久しぶりの施設でしたが、会場にいた34人のうち何人かの人は覚えていらっしゃいました。ざっと見渡したところではお元気そうな方が多く、実際に最初の曲「四季の歌」を踊り始めると、会場から自然に歌声が湧き上がり、とても良い雰囲気の中かで踊ることが出来ました。最近の訪問では50分前後は平気で演じられるのですが、この日は施設の人から30分に時間を限られたため、ダンス7曲の予定を5曲、歌も3曲を2曲に短縮しました。それでも終了時間いっぱいとなってしまいましたので、皆さんとの握手もこの日は残念ながら省略。次回のお楽しみとしたのでした。なお、写真は携帯で撮ったため不鮮明なことをお許しください。(文：角田、写真：埴)



手話ダンス同好会だより 50号

今年は早めに最終公演

平成26年最後のボランティア訪問は、7月にお邪魔したツクイ北本への再訪です。こちらの施設からの熱心な要請があり、わずか5か月ですが伺うことにしました。12月に入ったばかりの2日、この日はメンバーに都合の悪い人が多く、昨年9月の植竹公民館以来の5人での公演となりました。1時半過ぎに施設に到着し、お風呂場の脱衣室で待機。2時少し過ぎに呼び出しがあり会場へ、この日の通所者は15人と少なめでした。前回伺ったときも火曜日の練習後だったので、「7月に見た人いますか」と聞いたところ、2～3人の人から手が上がりました。本当はもっといたかも知れません。

★良く施設の人から「同じ踊りでも忘れていきますから気にしないでやってください」と言われるのですが、やる方はやはり気になります。歌は季節によって毎月変えているので大丈夫ですが、踊りの方はできるだけ前回の7月と重複しないように選曲しました。我ながらレパートリーが増えたものだと思います。それでもツカミの「四季の歌」、ティーチングの「夕焼け小焼け」、そして誰でもが郷愁を誘われる「ふるさと」、この3曲は欠かせません。7曲踊った後に湧きあがったアンコールにも「ふるさと」で応えました。

★ということで今年も1年、同じような拙い手話ダンスだよりにお付き合いいただきまして、ありがとうございました。来年もメンバー一同頑張って活動していきたいと思いますので、よろしくお願ひします。今でも随時入部可能ですので、まずは見学に来てください。練習スケジュールは下記のとおりです。それではよいお年を…。(文：角田、写真：榎本)

今後の練習日程

1月13日(火) 午前10時	大宮区宮町自治会館
1月24日(土) 午前10時	大宮区宮町自治会館
2月 3日(火) 午前10時	大宮区宮町自治会館
2月28日(土) 午前10時	大宮区宮町自治会館
3月10日(火) 午前10時	県活第1研修室
3月28日(土) 午前10時	大宮区宮町自治会館
4月 7日(火) 午前10時	県活第3会議室
4月25日(土) 午前10時	大宮区宮町自治会館
5月12日(火) 午前10時	県活第4会議室



H 2 7 年動報告

目次

1、手話ダンス同好会だより 5 1 号 H27. 1. 15	P 7 9
2、手話ダンス同好会だより 5 2 号 H27. 2. 19	P 8 0
3、手話ダンス同好会だより 5 3 号 H27. 2. 28	P 8 1
4、手話ダンス同好会だより 5 4 号 H27. 3. 28	P 8 2
5、手話ダンス同好会だより 5 5 号 H27. 4. 25	P 8 3
6、手話ダンス同好会だより 5 6 号 H27. 6. 9	P 8 4
7、手話ダンス同好会だより 5 7 号 H27. 7. 7	P 8 5
8、手話ダンス同好会だより 5 8 号 H27. 7. 9	P 8 6
9、手話ダンス同好会だより 5 9 号 H27. 9. 19	P 8 7
1 0、手話ダンス同好会だより 6 0 号 H27. 10. 10	P 8 8
1 1、手話ダンス同好会だより 6 1 号 H27. 11. 28	P 8 9
1 2、手話ダンス同好会だより 6 2 号 H27. 12. 8	P 9 0



手話ダンス同好会だより 51号

25期生に講義

明けましておめでとうございます。手話ダンス同好会27年最初の活動は、1月15日、伊奈学園からの依頼で、25期健康福祉科の皆さんに「卒業後のボランティア活動の一例」というテーマで講義を行いました。これで3年連続の講義依頼となります。いきがい大学は、27年度から大幅な機構改革を行い、2年制が無くなりすべて専攻科となります。したがって、25期生の皆さんが伊奈学園として最後の2年制の生徒となるわけです。会場は宿泊棟の第三会議室で、定員は35名なのですが、25期健康福祉科は39名。事務局側で私たち5人の分も含めて他の部屋からイスを持ち込みました。これは消防署には内緒です。ちなみに、地域創造科から科名を昔に戻した生活環境科は18名。このアンバランスもいきがい大学変革の一因かも知れません。

★今回は、パソコンを使った講義に挑戦しましたが、画面が50インチの液晶ディスプレイだったので後の人は見えにくかったかも。初めは同好会設立の経緯から昨年4月以降のボランティア活動状況などを説明し、皆さんと一緒に「思い出のグリーングラス」に合わせて準備運動を行いました。手話ダンスの最初は、日本で初めて手話から生まれた歌「そして思い出」。この曲の振り付けは習ったばかりでかなり難しく、1曲目のナンバーにするかどうか悩んだのですが、皆さんの度肝を抜こうと敢えて挑戦しました。結果はどうだったのでしょうか。2曲目は夕焼け小焼けのティーチング。全員立っていただき、一つ一つの歌詞に相当する手話を説明しました。そして歌2曲・踊り1曲が順調に進み、前半最後の「ふるさと」が終わったところで所長が見に来られました。3年間で初めてですが、残念ながらここで休憩。間の悪いときは仕方ありません。

★後半は昨年12月に行われた埼玉県聴覚障害者協会の手話の講義資料に付いていた「四季の歌」を、これまた丁寧に指導し全員で踊ってもらいました。とにかく、単なる座学ではなく、身体を動かして講義に参加してもらおうというスタンスでしたが、受けた皆さんはどう思ったのでしょうか。こうして今回は、予定の2時45分を5分余して無事終了。何にせよ早めに終われば皆さんからの評価は高いのではと、一瞬の不純な動機に反省しつつ講義を終えたのでした。文：角田、撮影：学園側)



手話ダンス同好会だより 52号

ドキャタンのお詫び

2月19日、平成27年最初のボランティア訪問はデイサービス・フローラ蓮田です。こちらは昨年(2014年)の11月13日にお邪魔する予定だったのですが、直前に2人が体調を崩し、急遽キャンセルの電話を入れさせていただきました。早くお詫びの訪問をしなければと思っていたのですが、施設側の希望が午前中にやって欲しいということで、通常の練習日以外の皆さんのスケジュールを合わせるのに時間がかかってしまいました。

この日の通所者は31人。私たち7人が着いたときは既に舞台のような小上がりに向かって3列に並べられた椅子に座って待っておられました。今回からダンスの演目に、覚えてばかりの「寒い朝」(吉永小百合さんの歌手デビュー曲)を入れ、唄の方でも「東京ラプソディー」を新曲として(?)入れました。唄は皆さんノリノリの様子でしたが、ダンスの方は私たちの踊りがまだまだだったせいか、反応が今イチだったのは残念でした。また、CDラジカセの調子がこれももう一つで、音飛びが何回か発生し、ずっこけながらの演舞でした。それでも終わったあと、施設の人からこの次はいつ頃来られますかと聞かれたのを勝手に良い方に解釈し、春近しを感じられる暖かな日を浴びながら、3回目の訪問を終えたのでした。(文:角田、撮影:埴)



手話ダンス同好会だより 53号

3年ぶりの訪問

2月28日、午前の練習のあとは銀座アスター大宮店で豪華なお食事。といっても値段の豪華さに気押しされ、一番安いものを注文するのが年金生活者のつらいところ。午後は平成24年2月以来、ちょうど3年ぶりとなった老健施設・あすかにお邪魔しました。前回はずいぶん遠いなあと思いましたが、その後その先にある共立病院を訪問したのでそれに比べれば、とは言ってもバスで30分、やっぱり遠いところです。

私たち7人はかなり早めに着いたのですが、施設の人が呼びに来て、いったん会場に入ってから忘れ物に気がつき、あわてて控室まで取りに行ったメンバーが1名。30分近く待ったので、却って気がゆるんだようです。この日私たちに与えられた持ち時間は40分と短いので、ダンスナンバーも1曲減らし、歌の間のおしゃべりも極力減らすことにしました。会場で待っていた皆さんは36人。デイサービスと比べるとどうかなと心配していましたが、皆さんの反応は思った以上に良く、司会のHさんが「次は懐かしい『ふるさと』です」と言うと、すかさず会場から「うさぎ追いしだね」と声が掛かりました。また、「踊りが上手だね」という普段言われたことのない褒め言葉も聞かれ、私たちは一段と気をよくして踊ったのでした。そして6曲目・いつものラストナンバー「今日の日はさようなら」でフィナーレ。全員と握手して回りましたが、大正6年生まれ（97歳）のおばあさんの元気なこと。あやかりたいと思いつつ、施設をあとにしました。（文：角田、撮影：塙）



手話ダンス同好会だより 54号

総会もやっています

3月28日、午前の練習のあとは「大宮あづま路」で、懐石料理を頂きながら26年度の総会を行いました。このお店は、女性向きの洒落た料理で最近知られるようになったらしく、なかなかの繁盛ぶりです。この日のお料理も、油で揚げたものは1品もなく、実にヘルシーな仕上がりでした。ちなみにお値段は税込み1,230円でした。

★わが手話ダンス同好会も、結成以来丸5年を終えようとしています。スタート時はクラス会的な性格もあり、会員数が20人を超えていたのですが、今やいきがい大学以外からお迎えした1人を加えても9人となってしまい、存続が難しくなってきました。特に、栗原さんの突然のご逝去はいまだに信じられず、当会にとっても大きな痛手となりました。この日は6人が出席し、総会は成立…って、そんな細かい会則はありませんが……。まずは26年度の活動報告として、練習23回、ボランティア訪問11回、いきがい大学での講義1回となりました。練習回数は前年度と同じですが、訪問回数が月イチを割ってしまったのは残念。人数が少なくなって大きな舞台ではやりづらくなりましたので、27年度は老人施設へのボラ訪問に力を入れるようにしたいものです。

★次に、会費が今までは年間3,000円でしたが、会員数の減少により会場費が厳しくなって値上げせざるを得ず、27年度から年間5,000円とすることに決まりました。それでも月2回で400円ちょっと。まだまだ安いのではないのでしょうか。そして新会員の獲得に関しては、昨年1月に講義を行った24期福祉・環境が卒業するので、入部勧誘をしたのですが、残念ながら今のところ手応えなし。いきがい大学関係者以外でも積極的に勧誘しようということになりました。最後に役員人事。代表は留任、会計はSさんということで決定しました。(文：角田)



手話ダンス同好会だより 55号

4回目の訪問

4月25日、前の日は専科1期校友会の定期総会でした。我が健康づくりコースは昨年度は一年間催し物がなかったため、久しぶりにお会いした仲間も多くいらっしゃいました。何より驚いた事は会員の激減で、設立時39名のメンバーが三分の一の13人になってしまいました。いろいろと考えることはありましたが、何はともあれ午前中は練習。実は、4月からメンバーの紹介による外部の方2名に入会してもらうことになりました。この日はお一人の方が見え、早速、我々が最初に習った「夕焼け小焼け」と「ふるさと」を、先生から指導していただきました。脇で見ていると、いい加減に覚えている箇所があることに気がつき、今さらながら反省しきりです。

★この日の訪問先は大宮白菊苑です。昨年11月に行ったばかりなのですが、代表が申込先を間違えて話を決めてしまったというオソマツで、いよいよまだらボケの前兆かも知れません。ということで、同一の施設に初めて4回目の訪問となりました。1時半にお呼びが掛かり会場に入ると、31の綺麗に並んだ椅子に座って待っていらっしゃいました。ここは元気な通所者が多く、車椅子の方はお一人だけでした。前回同様、最初の「四季の歌」を踊り出すとメロディーに合わせ歌声が湧きあがりました。そしてそれは踊った6曲全てに続いたのでした。これだけノリの良い施設も珍しいものです。もちろん、テンポがずれることもあり、あとで踊りづらかったというメンバーもいましたが、人間の耳は不思議なもので、いろいろな音が入ってきても意思の力でその中から特定の音を選び出すことができます。私たちの方で伴奏に集中しなければなりません。

★こうして、あっという間に45分が過ぎました。今回はお世話している人が何人かにマイクを向けていただき、皆さんの感想を聞くことができました。これも一つの脳トレになるのでしょう。また、前回は時間がなくて省略してしまった全員との握手も今回は入念に行い、気持ち良く施設をあとにしました。(文：角田、写真：施設側)



手話ダンス同好会だより 56号

伊奈にも施設は沢山あります

6月9日、ニューシャトル丸山駅前のあずみ苑にお邪魔しました。ここは先月の12日に訪問する予定だったのですが、生憎、校友会の小川町ウォーキングと打ち合わせが重なってしまい、施設側にお詫びして1か月延ばしていただいたものです。この日は7人で訪問しました。会場に入ると、かなり客席(?)が扇状に迫っており、昔ならドキドキしてしまう距離ですが、最近ではずーずーしく、いや、ずーっと進歩してきましたので、比較的平常心で演舞することができます。ただ、気になったのは両脇にいらっしゃる男性2名ずつ2組、一心に将棋を指しています。はたしてこの4人を私たちの方に向かせることができるでしょうか。

★ところで、私たちのレパートリーは、この5年間で16曲ほどになりました。しかし、だんだん難しくなると同時に、新しく習った曲が老人施設で踊るに相応しい曲かどうかという、なかなか難しいところです。結局はいつも同じ曲になってしまいます。仕方ないので、唄のコーナーで新しい曲を入れるようにしたいと思い、この日は「椰子の実」を取り上げてみました。でも、最初の部分「名も知らぬ 遠き島より流れ寄る椰子の実一つ」と唄ううち、余裕をもってブレスできる場所は1箇所しかありません。もう1箇所「流れ寄る」の次にブレスしようとしても、一瞬で行うのは難しい。終わりの「汝(なれ)はそも波に幾月」のところでも「波に」と「幾月」の間でブレスしないと苦しくなるのですが、これも難しい。要するに、この歌は簡単そうで難しいということが分かりました。

★こうして、あっという間に45分が過ぎました。すると施設の方からアンコールの声が掛かり、私たちは「ふるさと」をもう一度踊ってお別れとしました。男性4人はとうとうこちらに視線を向けることはありませんでした。残念。(文：角田、写真：埴)



手話ダンス同好会だより 57号

大声で歌う元気なおばあちゃん

私達は七夕様の日、7月7日宮原駅から車で5～6分の所にある介護施設で、施設内会場の七夕飾りが印象的な“奈良町みんなの家”を訪問しました。くしくも数年前の7月7日に同じグループの“土呂町みんなの家”にボランティア訪問した時、施設の方が手製のこいのぼりを振って歓迎してくれたことを思い出しました。会場には入所している12名の女性の方が興味深そうな表情で私達を迎えてくれました。ここの施設は初めての訪問のため、手話ダンスとはどんな踊りなのか事例を披露しながら説明しました。みなさんうなずいてくれました。

★早速演技開始です。四季の歌、続いて夕焼け小焼けと踊りました。良く知られた歌いやすい曲なので、会場の皆様徐々にうちとけて声を出して歌ってくれ会場は盛り上がってきました。次に昔の童謡を歌う時間になって、皆で合唱を始めましたが、一人のおばあちゃんは子供のころに帰ったようで、自己流のテンポでしかも大声で歌を歌われ楽しそうな表情をされていたのが印象的でした。結局私達は手話ダンス6曲（含むティーチング）、童謡の合唱3曲、更にアンコール3曲を追加し、最後は会場の皆様と熱い握手をして訪問を終えました。（文、写真 塙）



手話ダンス同好会だより 58号

配食サービスの集まりに出演

7月9日、今週は専科1期校友会に関係した催し物が多く、火曜日から1日おいての手話ダンスのご披露となりました。訪問先は、一昨年9月にお邪魔して以来の、大宮植竹町にあるさいたま市高齢者生きがい活動センターです。メンバーの中には月曜日に太極拳でボランティア訪問した人もいて、これで彼女は7月10日の暑気払いを含め、週のうち4日が専科1期がらみとなりました。

★11時に控室に迎えが来て会場に入ると、前回よりも多い50人近くの人達で一杯です。お集まりの皆さんは、地域の独居の方ということで、ご家族と同居の高齢者より遙かにお元気そう。それはそうですね、普段から何でも一人でやっている方ばかりですから…。いつもの「夕焼け小焼け」のティーチングの様子をご覧ください。全員が一緒にやってくれていますね。これが老人施設とは違う盛り上がりと張り合いなのです。唄のコーナーでも、大きな声で楽しそうに唄ってくれました。

★前回は時間を読み違えて、尻切れトンボで終わってしまった反省を踏まえ、今回は時計をみながら順調に進めました。後半も予定の3曲を、食事の準備に少し手間取っているのを幸い、たっぷり踊ることができました。大喝采の中で会場をあとにし、久しぶりの充実した訪問となりました。そうそう、終了後は皆さんと同じお昼を頂いたこともご報告しなければいけませんネ。(文：角田、写真：施設)



手話ダンス同好会だより 59号

施設の人より再訪問の強い要望

9月に入り関東地方で河川の決壊による甚大な被害が出るなど荒天が続くなか、訪問当日の9月19日は久しぶりに好天にめぐまれ私達手話ダンスメンバー7名は晴れ晴れとした気持で大宮駅前のバス停に集合しました。訪問先はバスで5～6分先にある大宮区天沼町の介護施設“デイサービス白菊苑”です。予定より30分前に着いたため、私達はどこの施設でもまだ披露していない練習中の2曲を鎮目先生の指導で時間まで熱心に練習しました。

★さて会場に出て見ると“手話ダンス様”と書かれた大きなめくり台が置かれ、デイサービス28名の方が興味深そうに私達を迎えてくれました。今回の演技依頼時間は30分と制約があり、デイサービスの方達との合唱は行わず手話ダンスのみを行いました。

★早速演技開始です。まず“四季の歌”を演舞しました。良く知られた曲で前列の人たちは大声で歌い始めました。会場が盛り上がってきたところで“夕やけ小やけ”を踊りました。この曲も懐かしい曲なので多くの方が大きな声で歌いました。次に手話ダンス先生の鎮目さんによる“夕やけ小やけ”のティーチングです。曲の一節ずつ手話を教え、皆さん上手に真似されました。これが非常に好評で、見たり聞いたりすることより自分が参加できることが楽しいのだと思いました。

★事実演技が終わった後、施設の方からは是非次回はティーチングを主体にお願いしたいとの強い要望がありました。次の演舞は懐かしい“ふるさと”を舞いました。これも全員合唱のなかで踊りました。次は私たちが練習してきた曲“寒い朝”、“そして思い出”2曲を鎮目さんの踊りを盗み見ながらなんとか演じました。その後“ともだち”、“今日の日はさようなら”を踊り更にアンコールに“ふるさと”を舞い、演舞を終えました。最後は会場の皆様と固い握手を交わし再会を約し今回の訪問を終えました。(文・写真 塙)



手話ダンス同好会だより 60号

手話ダンス交流会に参加

10月10日（土）埼玉県内の手話ダンスクラブ主催による“手話ダンス交流会”に参加しました。場所はさいたま市北区のプラザノース1階大ホールで参加団体は、東松山“かすみ草”、川越“小江戸”、本庄“エンジェル”、大宮“キュート”、それに私達手話ダンス同好会の5団体です。

★手話ダンス団体の演舞は全17回（曲）で各団体3～4回（曲）演舞しました。私達は苦勞して覚えた曲“ともだち”、“寒い朝”、“そして思い出”を演舞しました。

★主催者側は手話ダンスを見に来られた耳の不自由な方を想定して、挨拶や説明・紹介を壇上にて手話を交え行いました。曲の合間に会場に行き着席されている方々を良く見ると、演舞の曲に合わせ楽しそうに上手に手話をされる方を多く見受けました（主催者側が事前に関係団体等に連絡されていたかも知れません）。

★手話ダンスがそのような方々にも喜んでもらえた事は私達にとって予期せぬ望外の喜びでした。私達は演舞する3曲の内容に合わせてそれぞれ工夫した服装に着替えて演舞しました。会場から多くの拍手を頂きました。無事に演舞出来たことに安堵し会場をあとにしました。（文・写真 塙）



手話ダンス同好会だより 61号

お元気なグループホームの皆さん

11月28日、この冬一番の寒さの中、午前中の練習後は徒歩で北大宮駅そばのニチイグループホーム「ほほえみ」にうかがいました。私ごとですが、体調の関係で4か月ぶりのボランティア訪問です。2時開始ということで、途中で食事をして時間調整。とは言っても、あまり長居はいかなものかと適当な時間で店を出たところ、目的のホームは目の前で歩いて2分。ちょっと到着が早すぎたかも。ここのグループホームはまだまだお元気な方が多く、集まっていたいただいた18人の中で、車椅子の方は皆無です。また、比較的入所金が高額なので、それなりの生活を送られてきた人ばかりとのことでした。★いつものように前半2曲、「夕焼け小焼け」のティーチングへの反応もまずまずでした。歌の2曲目に用意したのは、奇しくも今週死亡が報じられた原節子さんの出演で知られる「青い山脈」。この歌は「残したい昭和の歌百選」の第1位に選ばれた名曲です。今日は追悼の意味も含め4番までしっかり唄いました。一番前に座っていた男性が大きな声で唄っていたのが印象的で、後で施設の人とうかがったところ、若い頃歌をやっていたそうで御年98歳と聞いてビックリ。後半の4曲の踊りでも皆さんから歌の応援をいただいて、汗ばみながら終了しました。(文:角田、写真:埴)



手話ダンス同好会だより 62号

今回は向いてくれました

12月8日、太平洋戦争突入の日、同時にジョンレノン忌でもあります。先月のボランティア訪問の日に続いて、どういう訳かまたまたこの冬一番の寒い朝でした。県活での午前中の練習後、今年最後のボランティアは、ちょうど半年ぶりに伊奈「あずみ苑」にお邪魔しました。こちらは最初の訪問の時も順延の末だったのですが、今回も実は10月頃から依頼があったのですが、事情により延び延びになっていたものです。

★師走ともなると、皆さんお忙しいと見えて、本日の参加者は5人。でも会場で私たちを迎えてくれたのは20人。丁度良いバランスかも。前回の訪問も火曜日だったので、何となく見覚えのある顔がちらほら、ということは踊る曲も少し変えなければと思い、2曲入れ替えました。まあ、あまり気にすることはないと施設の人は言ってくれるのですが

……。この日の歌のコーナーではあまり声が聞こえず、ちょっと凹みました。「冬の夜」

「冬の星座」は学校で習わなかった人もいたようです。ティーチングは、いつもは「夕焼け小焼け」だけなのですが、今回は「ふるさと」も1番だけ振りを教えて、皆さんにもやっていただきました。言葉ごとに手話の形を教えるときは大丈夫なのですが、音楽に合わせるとなると皆さんなかなか難しいようです。それはそうですよね。私たちも何年やっても次の手話が出てこないときがあるのですから。

★ところで、6月に訪問したとき、男性4人が将棋を指していてこちらの演舞に関心を示してくれなかったことを手話ダンスだより56号に書きましたが、今回はずっとこちらを向いて楽しんでくれました。やれやれ、よかった、よかった。（文：角田、写真：塙）



